KENWOOD

MP3/WMA/AAC対応デュアルサイズDVDレシーバー

DDX516

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation

© B64-4783-00/00 (JW)

目次

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注 意

△記号は注意 (警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

禁 止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (右図の場合は分解禁止) が描かれています。

実 施

● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

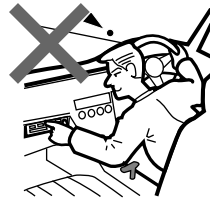
お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

警告

実 施

運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。

● カーオーディオの操作 (音量調節、ディスクの挿入など)

実 施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

実 施

USB デバイスは運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

実 施

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする

実 施

修理は必ず購入店またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。
お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁 止

本製品の分解や改造はしないでください。
火災その他の事故の原因となります。

⚠注意

注 意

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

禁 止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

禁 止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

禁 止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

実 施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。
安全のため＜お買い上げの販売店＞にご依頼ください。

使用上のご注意

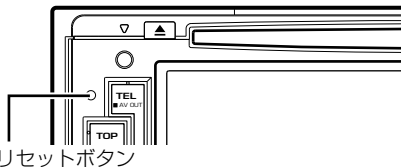
⚠ 警告

ケガや火災を防ぐために、次の点にご注意ください。

- ショート事故を防ぐため、本機の内部に硬貨や金属物を差し込んだり残したりしないでください。
- 運転中は、本機の画面を注視したり、長時間見続けないでください。

本機のリセット

- 本機または接続している機器が正常に動作しなくなったら、リセットボタンを押してください。
- リセットボタンを押す前に、接続している USB デバイスを取り外してください。取り付けたままリセットボタンを押すと、USB デバイス内のファイルが損傷する場合があります。USB デバイスの取り外し方法については、「メディアなどをセットする」(p14)をご覧ください。
- リセットボタンを押した後、本機の電源がオンになり、Initial SETUP画面が表示されます(p19)。

リセットボタン

お手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。

汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露(水滴)が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

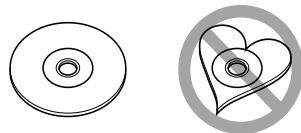
このようなときは、ディスクを取り出して約 1 時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。

もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

ディスクの取り扱いについて

- 取り扱いは記録面に触れないようにしてください。(レーベルが印刷されていない面が記録面です)
- 記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど)は故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールや外周部に"バリ"がないことを確認してください。
  "バリ"がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。"バリ"があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。

使用できないディスク

- 特殊な形状のディスクは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因になります。

- 記録面(レーベル面の反対側)が着色してあるものや汚れているディスクは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。
- マークの付いていない CD は使用しないでください。
  前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。
- ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーの説明書をご覧ください。
- 8cmDVD/CD は使用できません。8cmCD アダプターを付けても使用できません。

画面保護のために

画面に傷をつけないために、ボールペンなどの先端がとがったもので操作しないでください。

再生できるディスクについて

ディスク再生対応一覧表

分類	規格	対応	備考
DVD	DVDビデオ	○	
	DVDオーディオ	×	
	DVD-VR	○	CPRMは非対応
	DVD-R	○	MP3/WMA/AAC/WAV/JPEG/MPEG 再生可能 マルチボーダー／マルチセッション (オーサリング状態により再生不可) 8cmディスク非対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD-R DL (2層)	○	ビデオフォーマットのみ再生可能
	DVD+R DL (2層)	○	
	DVD-RAM	×	
CD	音楽CD	○	8cmディスク非対応
	CD-ROM	○	MP3/WMA/AAC/WAV/JPEG再生可能 マルチセッション対応 パケットライト非対応
	CD-R	○	
	CD-RW	○	
	DTS-CD	○	
	ビデオCD (VCD)	○	
	スーパービデオCD	×	
	静止画CD	×	
	CD-EXTRA	△	音楽CD部分のみ再生可能
	HDCD	△	通常の音楽CDの音質で再生可能
	CCCD	×	
その他	デュアルディスク	×	
	スーパーオーディオCD	△	CD層のみ再生可能

○：再生可能　△：一部再生可能　×：再生不可

“DualDisc” のご使用について

“DualDisc” を本機で再生すると、ディスクの挿入時やイジェクト時に再生していない面に傷が付くことがあります。また、音楽 CD 面は CD の規定に準拠していないため、再生ができないことがあります。

(“DualDisc” とは、片面に DVD 規格に準拠した信号が記録され、もう片面に音楽 CD の信号が記録されているディスクです。)

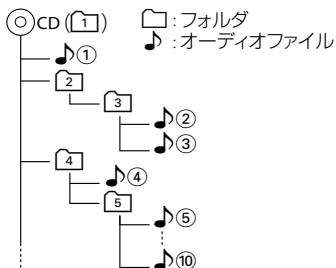
オーディオファイル

- **プレイできるオーディオファイル**
  AAC-LC (.m4a)、MP3 (.mp3)、WMA (.wma)、リニア PCM (WAV) (.wav)

・通常の音楽 CD の形式と他の形式が同一 CD に混在している場合、先頭の形式のもののみがプレイされます。

- **使用できるメディア**
  CD-R/RW/ROM、DVD±R/RW、USB マスストレージクラス、KNA-i909 で接続した iPod
- **プレイできるディスクのフォーマット**
  ISO 9660 Level 1/2、Joliet、Romeo
- **プレイできるUSBデバイスファイルフォーマット**
  FAT16、FAT32

上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアやデバイスの種類やコンディションにより正常にプレイできない場合があります。

- **オーディオファイルをプレイする順番**
  下記のようなフォルダ／ファイル階層のメディア／デバイスでは①から⑩の順にプレイされます。

オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、www.kenwood.com/cs/ce/audiofile で公開しています。オンラインマニュアルには、この取扱説明書に記載されていない詳しい情報や注意事項が掲載されています。この取扱説明書とあわせて必ずお読みください。

次のページへ ►

ビデオファイル

- **プレイできるビデオファイル**
  MPEG1、MPEG2
- **拡張子**
  mpg、mpeg、m1v、m2v
- **使用できるメディア**
  CD-R/RW/ROM、DVD±R/RW、USB マスストレージクラス、KNA-i909 で接続した iPod

メディアのフォーマットやファイル名 / フォルダ名などについてはオーディオファイルと同様です。詳しくは、「オーディオファイル」(p7)をご覧ください。

ピクチャファイル

- **プレイできるピクチャファイル**
  JPEG
- **拡張子**
  jpg、jpeg
- **使用できるメディア**
  CD-R/RW/ROM、DVD±R/RW、USB マスストレージクラス

メディアのフォーマットやファイル名 / フォルダ名などについてはオーディオファイルと同様です。詳しくは、「オーディオファイル」(p7)をご覧ください。

USB デバイスについて

- 本書では、USB 端子に接続されているフラッシュメモリーやでデジタルオーディオプレーヤーなどを単に「USB デバイス」と呼びます。
- USB デバイスを接続して本機の電源をオンにすると、接続している機器の充電ができます。
- USB デバイスの接続は、安全な場所に駐車して行ってください。
- USB ハブやマルチカードリーダーを介して USB デバイスを認識させることはできません。
- 本機で使用するファイルはバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしません。あらかじめご了承ください。
- 本製品に USB デバイスは付属されていません。別途、市販品を購入してください。使用できる USB デバイスについては「オーディオファイル」(p7)を参照してください。
- 使用する USB ケーブルには CA-U1EX（別売品）をお薦めします。
- USB 規格以外のケーブルを使用した場合やケーブルの総延長が 5m 以上になった場合は、正常にプレイできない場合があります。

本機に接続できる iPod/iPhone

本機からコントロールできる iPod は以下のとおりです。（2010 年9月現在）
Made for

- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPod with video
- iPod classic
- iPod touch (3rd generation)
- iPod touch (2nd generation)
- iPod touch (1st generation)
- iPhone 3G
- iPhone 3GS

- iPod（iPod touch を除く）のソフトウェアは、最新版に更新してください。
  iPhone および iPod touch のソフトウェアは、バージョン 3.1.2 で動作を確認しています。
  最新の適合情報については下記の URL で確認してください。
  http://www.kenwood.com/cs/ce/ipod/
- iPod 接続ケーブル KNA-i909（別売品）で接続された iPod/iPhone を本機からコントロールできます。本書で単に「iPod」と呼んでいるのは、別売品の iPod 接続ケーブル KNA-i909 で接続された iPod および iPhone を指します。

- iPod を接続してプレイすると、ミュージックファイルをプレイしていた場合は、その曲から始まります。
- iPod に "KENWOOD" と表示されているときは、iPod の操作はできません。

本機に接続できる Bluetooth ユニット

- KCA-BT300

リージョン番号

本機で再生できるDVDリージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または2を含むもの）と「ALL」です。
DVDディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

DVD ディスクのマーク

記号	内容
	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどのDVDプレーヤーでも再生できます。
	収録されている音声の言語数を表します。1本の映画の中に最大8つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32カ国語まで収録できます。
	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

操作規制マークについて

DVDは、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは下記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。

本書の読みかた

この取扱説明書では、イラストを使って操作を説明します。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。
このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

画面上のアイテムの選択
画面に表示されているアイテムを選択します。
選択は、画面にタッチして行います。

短く押す
で示したボタンを押します。

表示の切り替わり
操作するたびに、ここに示した順番で表示が切り替わります。

▼：次の段に続きます。
●：ここで終わりです。

次ページに続く
次ページに続きの説明があります。ページをめくって説明の残りを読んでください。

ソース操作画面で操作する

ソース操作画面で各種の操作を行います。

1 ソース操作画面を表示する
詳しくは、「ソース操作画面を表示する」をご覧ください。

2 ソース操作画面で操作する

[FM] FM バンド（FM1/2）を切り替えます。
[AM] AM バンド（AM1/2）に切り替えます。
[|◀◀], [▶▶|] 選局します。
[SEEK] ボタンにタッチすると、選局方法を切り替えることができます。

マルチファンクションバー

[Mono] FM モノラル音声で受信します。
[SEEK] 選局方法を切り替えます。
ボタンにタッチするたびに、選局方法は次の順で切り替わります。

表示	設定
“AUTO1”	受信状態の良い放送局を受信します。
“AUTO2”	ぷプリセットされている放送局を順に受信します。
“MANU”	1ステップごと周波数を変えて受信します。

3 メモリーする

2秒

プリセット番号が表示されるまでタッチし続けます。

次のページへ ▶

上記のマーク表記例は、実際の操作とは異なります。

ファンクションアイコン

再生中のメディアやファイルの種類によって機能が異なる場合は、アイコンで表示します。

DVD-VIDEO：DVDビデオを再生中に機能します。
DVD-VR：DVD-VRを再生中に機能します。
Video CD：ビデオCDを再生中に機能します。
CD：CD（CD-DA）を再生中に機能します。
Audio File：オーディオファイルを再生中に機能します。
MPEG：MPEGファイルを再生中に機能します。
JPEG：JPEGファイルを再生中に機能します。
Disc：ディスクメディア（DVD、CD）の再生中に機能します。
USB：USBデバイスの再生中に機能します。
FM：FM受信中に機能します。

2 秒以上押す

で示したボタンに 2秒 で示した時間以上タッチします。
動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。
左記では2秒間押すことを示しています。

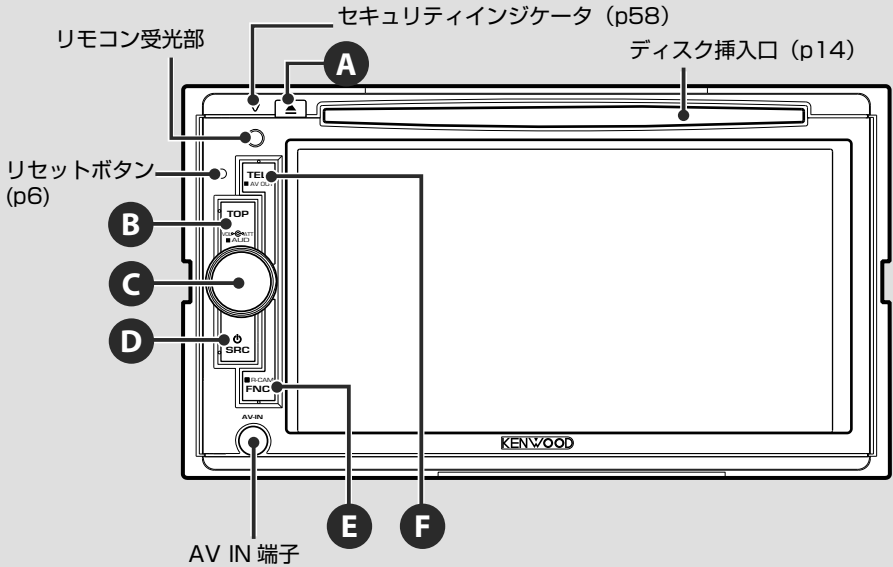
その他のマーク

ケガなどを防ぐための大切な注意事項が書かれています。

特記事項や補足説明、制限事項や参照ページなどが書かれています。また、機種に依存する事柄も書かれています。

その項目での全般的な注意事項や参照ページなどが書かれています。

当該設定項目での初期値を表します。

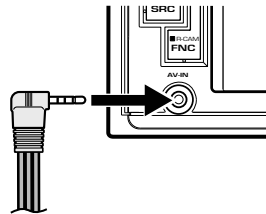
各部の名称とはたらき

1秒：1秒以上押し続けます。

A	ディスクを取り出します。
B	Top Menu画面を表示します。→14
C	左右に回して音量を調整します。 押すと、一時的に音量を下げます。もう一度押すと、元の音量に戻ります。 1秒 Tone Control画面を表示します。*1 →53
D	電源をオンにします。 電源がオンのときに押すと、ソース操作画面を表示します。→16 1秒 電源をオフにします。
E	カンタン操作画面を表示します（ビジュアルソースの再生中)。→18 1秒 リアビューカメラの映像をオン/オフします。*2
F	Hands Free画面をオン/オフします。 1秒 AV OUTに出力するソースを切り替えます。

*1 選択中のソースによっては、オーディオノブⒸを1秒以上押しても、Tone Control画面に切り替わらない場合があります。

*2 [FNC]キーⒺを1秒以上押したときの機能を、ディスプレイオフ機能に変更することもできます。→56

AV IN端子に外部機器を接続するときは

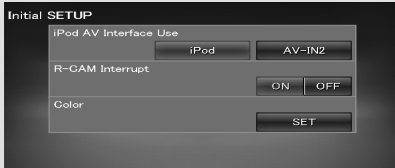
AV-IN端子にAV機器などの外部機器を接続するときは、
CA-C3AV（別売品）が必要です。

- AV-IN端子に接続したオーディオソースに名前をつけておくこともできます。
  詳しくは、「AV入力を設定する」（p64）をご覧ください。

使ってみましょう

初期設定を行う

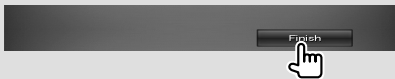
リセットボタンを押したときや初めて電源をオンにしたときには、Initial SETUP画面が表示されます。

1 電源オンにする

2 各項目を設定する

[iPod AV Interface Use]　背面の映像入力と音声入力に接続する機器を設定します。
（ “iPod”）
“iPod”：　iPod を接続する場合。
“AV-IN2”：AV 機器を接続して AV-IN2 端子として使用する場合。

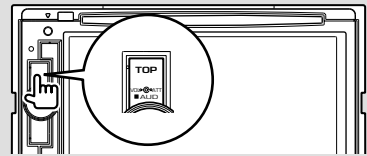
[R-CAM Interrupt]　リアカメラの映像に切り替える方法を設定します。（ “OFF”）
“ON”：ギアをリバースに切り替えたときに自動的に切り替わります。
“OFF”：ギアをリバースに切り替えても自動的には切り替わりません。

[Color]　画面とイルミネーションの色を設定します。(p60)

3 初期設定を終了する

• 上記の設定は、「セットアップメニューを表示する」(p55)に示した方法で変更できます。

プレイするソースを選ぶ

Top Menu画面で、プレイするソースのアイコンにタッチして選択します。

Top Menu画面

Top Menu画面が表示されます。

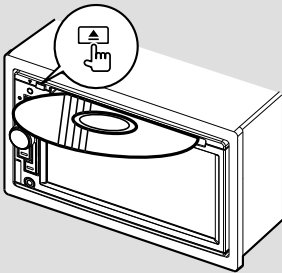
アイコンにタッチして、プレイするソースを選びます。

各ソースのプレイについては、下記のページをご覧ください。

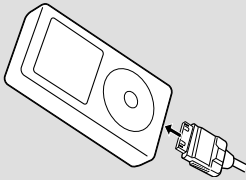
DVD-VIDEO/ DVD-VR/ ビデオCD	➡ p20
音楽CD	➡ p25
オーディオファイル/ ビデオファイル/ ピクチャファイル	➡ p25
iPod	➡ p31
USBデバイス	➡ p25
ラジオ	➡ p34
Bluetooth	➡ p37

• CDやDVDなどのディスクメディア、iPod、USBデバイスは、それらがプレイ可能状態のときにソースを切り替えることができます。

メディアなどをセットする

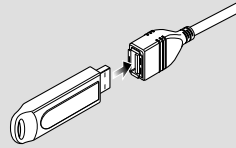
■ ディスクメディア

ディスクを挿入すると自動的にソースが切り替わり、プレイが始まります。

すでにディスクが入っているときは、[⏏]ボタンを押して取り出してください。

■ iPod

iPodを接続すると自動的にソースがiPodに切り替わり、プレイが始まります。

iPodを取り外すときは、まずソース操作画面の[►II]ボタンにタッチしてプレイを停止しください。

詳しくは、「ソース操作画面で操作する」（p32）をご覧ください。

■ USBデバイス

USBデバイスを接続すると自動的にソースがUSBデバイスに切り替わり、プレイが始まります。

USBデバイスを取り外すときは、まずソース操作画面の[⏏]ボタンにタッチしてください。

詳しくは、「ソース操作画面で操作する」（p25）をご覧ください。

• ソースメディアや機器をセットすると、自動的にプレイが始まります。

基本操作

ソース操作画面を表示する

プレイ中のソースのソース操作画面で、すべてのプレイ操作が行えます。

ソース操作画面

下記のボタンは、いろいろな画面で共通に表示されます。

[MENU]　Top Menu画面を表示します。

[ ]　ファンクションバーを表示します。ファンクションバーには次のボタンがあります。

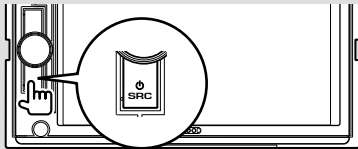
[ ]　現在のソースの画面を表示します。

[ ]　Audio Control Menu画面を表示します。(p52)

[ ]　SETUP Menu画面を表示します。(p55)

[ ]　ファンクションバーを閉じます。

• ボタンの使いかたについては、各ソースの操作のページをご覧ください。

ソース操作画面を表示するには

ソース操作画面が表示されます。

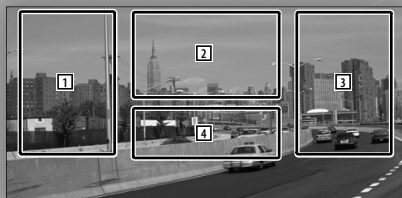
■ カンタン操作画面が表示されている場合は

ソース操作画面が表示されます。

映像ソースのプレイ画面での操作

映像ソースを観ているときには、画面にタッチすることによって基本的な操作は行えます。

画面は、下記の4つのエリアに分けられます。各エリアの機能は、ソースによって異なります。ソースによっては、使用できないエリアもあります。

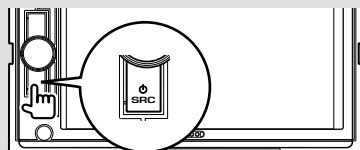
映像ソースのプレイ画面

各エリアの基本操作

1 前のチャプターやファイルからプレイします。
2 ディスクのメニュー画面(DVD-VIDEO、DVD-VR)、ピクチャ操作画面(ピクチャファイル)、またはZoom Control画面(ビデオCD)を表示します。
3 次のチャプターやファイルからプレイします。
4 ソース情報を表示または消します。*

- エリアの機能については、各ソースの操作のページをご覧ください。

* ソース情報表示

- ソース情報表示は、約5秒後に自動的に消えます。

プレイ画面を表示するには

ソース操作画面が表示されます。

プレイするソースのアイコンにタッチします。

映像ソースのプレイ画面が表示されます。

- ソース操作画面でソースのアイコンにタッチすると、すぐにプレイ画面が表示される場合があります。

カンタン操作画面を表示する

ビジュアルソースの場合は、基本的な操作ボタンをプレイ画面に表示することができますので、画面を切り替えることなく操作することができます。

カンタン操作画面

カンタン操作画面のボタン

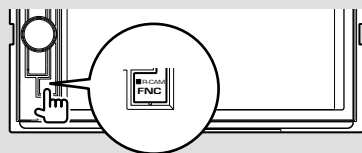
[▼] [▼]ボタンの機能を次のように切り替えます。

[SCRN] 画質調整画面を表示します。(p39)

[TEL] Hands Free画面に切り替えます。(p42)

[◀◀], [▶▶], [|◀◀], [▶▶|], [■], [▶ II]

ソースのプレイを操作します。ボタンは、ソースによって異なります。詳しくは、各ソースの操作のページをご覧ください。

カンタン操作画面を表示するには

カンタン操作画面が表示されます。

- 画面の中央部にタッチすると、カンタン操作画面を消せます。

DVD、ビデオCDを観る

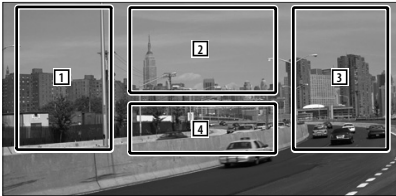
DVD/ビデオCDを操作します。

プレイ画面で操作する

基本的な機能は、プレイ画面で操作できます。

1 プレイ画面を表示する

詳しくは、「映像ソースのプレイ画面での操作」(p17) をご覧ください。

2 プレイ画面で操作する

1, 3 DVD-VIDEO 前または次のチャプターからプレイします（チャプターサーチ）。
DVD-VR 前または次のチャプターからプレイします（チャプターサーチ）。
Video CD シーンサーチ
(PBC 機能がオンの場合)
トラックサーチ
(PBC 機能がオフの場合)

2 DVD-VIDEO Menu Control 1 画面を表示します。（p20）
DVD-VR Menu Control 画面を表示します。（p21）
Video CD Zoom Control 画面を表示します。（p22）

4 ソース情報を表示または消します。

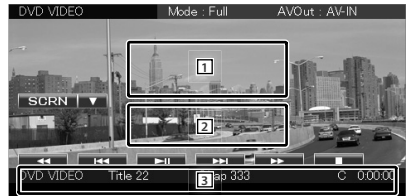
・ソース情報は、約5秒後に自動的に消えます。

カンタン操作画面で操作する

基本的な操作ボタンをプレイ画面に表示します。

1 カンタン操作画面を表示する

詳しくは、「カンタン操作画面を表示する」(p18) をご覧ください。

2 カンタン操作画面で操作する

1, 2 Menu Control 画面を表示します。

3 ソース操作画面を表示します。

[◀◀], [▶▶] 早送りまたは早戻し
ボタンにタッチするたびにスピードが変わります（2 倍速、3 倍速、またはオフ）。

[I◀◀], [▶▶I]
DVD-VIDEO チャプターサーチ
DVD-VR チャプターサーチ
Video CD シーンサーチ
(PBC 機能がオンの場合)
トラックサーチ
(PBC 機能がオフの場合)

[■] ストップ
ボタンに二度タッチすると、次回のプレイ時は先頭からプレイされます。

[▶II] プレイまたは一時停止

ソース操作画面で操作する

ソース操作画面では、いろいろなプレイ操作を行えます。

1 ソース操作画面を表示する

詳しくは、「ソース操作画面を表示する」(p16)をご覧ください。

2 ソース操作画面で操作する

DVD-VIDEO/DVD-VR

Video CD

[►II]　プレイまたは一時停止

[■]　ストップ
ボタンに二度タッチすると、次回のプレイ時は先頭からプレイされます。

[⏏]　イジェクト

[◄◄], [►►]　早送りまたは早戻し
ボタンにタッチするたびにスピードが変わります（2 倍速、3 倍速、またはオフ)。

[I◄◄], [►►I]

DVD-VIDEO チャプターサーチ
DVD-VR チャプターサーチ
Video CD シーンサーチ
(PBC 機能がオンの場合)
トラックサーチ
(PBC 機能がオフの場合)

[◄I], [I►] DVD-VIDEO , DVD-VR
遅送りまたは遅戻し

[ ]　プレイ画面に切り替えます。

1 情報表示
タイトルを表示表示します。

"Title"　タイトル（番号）表示

"Chap"　チャプター（番号）表示

"Scene"/ "Track"　シーン / トラック（番号）表示

"►"　プレーモード表示

"T"/ "C"/ "R"/ "P"　プレイ時間表示
[TIME] にタッチするとプレー時間表示を切り替えることができます。

[◄◄◄]　◄◄◄ にタッチすると、文字をスクロールできます。

マルチファンクションバー

[ ]　マルチファンクションバーを閉じます。

[ ]　マルチファンクションバーを開きます。

DVD-VIDEO

[REP]　次の順で、リピートプレイを切り替えます。
タイトルリピート、チャプターリピート、リピートオフ

[TIME]　次の順で、プレイ時間表示を切り替えます。
チャプター（“C”）、タイトル（“T”）、残り時間（“R”）

DVD-VR

[REP]　次の順で、リピートプレイを切り替えます。
タイトルリピート、リピートオフ

[TIME]　次の順で、プレイ時間表示を切り替えます。
タイトル（“T”）、残り時間（“R”）

[PLST]　オリジナルモードとプレイリストモードを切り替えます。

Video CD

[REP]　次の順で、リピートプレイを切り替えます。
トラックリピート、リピートオフ（PBC 機能がオフの場合のみ）

[TIME]　次の順で、プレイ時間表示を切り替えます。
トラック（“P”）、ディスクの残り時間（“R”）(PBC 機能がオフの場合のみ)

[PBC]　PBC 機能をオン / オフします。
（VCD Ver 2.0 のみ）

DVD-VIDEOディスクメニュー

DVD-VIDEOディスクメニューで操作します。

1 プレイ画面を表示する

詳しくは、「映像ソースのプレイ画面での操作」(p17) をご覧ください。

2 Menu Control 1画面を表示する

3 Menu Control 1画面で操作する

[Menu]　メニューを表示します。

[Next]　Menu Control 2 画面を表示します。

[◀], [▶], [▲], [▼]　メニュー項目を選択します。

[Enter]　項目の選択を決定します。

[Return]　元のメニュー画面に戻ります。

[Top]　メニューのトップを表示します。

[Highlight]　ハイライトコントロールを表示します。

[Exit]　Menu Control 画面を終了します。

4 ハイライトコントロールで操作する

ハイライトコントロールでは、画面のボタンにタッチして DVD メニューを操作できます。

- 画面の中央部にタッチしても、ハイライトコントロールを表示できます。
- ハイライトコントロールを中止するときは、[FNC] ボタンを押します。
- ハイライトコントロールは、約10秒後に自動的に消えます。

5 Menu Control 2画面で操作する

[Previous]　Menu Control 1 画面を表示します。

[Angle]　ピクチャアングルを切り替えます。

[SUB]　サブタイトルの言語を切り替えます。

[Audio]　音声の言語を切り替えます。

[Zoom]　Zoom Control 画面を表示します。

[Exit]　Menu Control 2 画面を終了します。

6 Zoom Control画面で操作する

[Zoom]　タッチするたびに、ズーム倍率 (2 倍、3 倍、4 倍、ズームオフ）が変わります。

[◀], [▶], [▲], [▼]　タッチした方向に画面がスクロールします。

[Return]　Menu Control 2 画面に戻ります。

[Exit]　Zoom Control 画面を終了します。

DVD-VRディスクメニュー

DVD-VRディスクメニューを操作します。

1 プレイ画面を表示する

詳しくは、「映像ソースのプレイ画面での操作」(p17) をご覧ください。

2 Menu Control画面を表示する

3 Menu Control画面で操作する

[Zoom]　Zoom Control 画面を表示します。

[SUB]　サブタイトルの言語を切り替えます。

[Audio]　音声の言語を切り替えます。

[Exit]　Menu Control 画面を終了します。

4 Zoom Control画面を表示する

[Zoom]　タッチするたびに、ズーム倍率 (2 倍、3 倍、4 倍、ズームオフ）が変わります。

[◀], [▶], [▲], [▼]　タッチした方向に画面がスクロールします。

[Return]　Menu Control 画面に戻ります。

[Exit]　Zoom Control 画面を終了します。

ビデオCDのZoom Control画面

VCDプレイ画面を拡大します。

1 プレイ画面を表示する

詳しくは、「映像ソースのプレイ画面での操作」(p17) をご覧ください。

2 Zoom Control画面を表示する

3 Zoom Control画面で操作する

[Zoom]　タッチするたびに、ズーム倍率（2倍、ズームオフ）が変わります。

[◄], [►], [▲], [▼]　タッチした方向に画面がスクロールします。

[Exit]　Zoom Control 画面を終了します。

音楽ディスクやオーディオファイルを聴く/ビデオファイルやピクチャファイルを観る

音楽CD、オーディオファイル、ビデオファイル、およびピクチャファイルのプレイ中に、各種の操作画面を表示できます。

- 本機でプレイできるディスクについては、「再生できるディスクについて」(p7)をご覧ください。
- 本機でプレイできるオーディオファイルやビデオ/ピクチャファイルについては、「オーディオファイル」(p7)、「ビデオファイル」(p8)、および「ピクチャファイル」(p8) をご覧ください。

ソース操作画面で操作する

ソース操作画面を表示すると、プレイ中にいろいろな機能を使えます。

1 ソース操作画面を表示する

詳しくは、「ソース操作画面を表示する」(p16)をご覧ください。

2 ソース操作画面で操作する

CD

Audio File MPEG JPEG

[►II] プレイまたは一時停止

[■] ストップ
ボタンに二度タッチすると、次回のプレイ時は先頭からプレイされます。

[⏏] Disc ディスクをイジェクトします。
USB USB デバイスを取り外せる状態にします。
"No Device" が表示されたら、USB デバイスは安全に取り外せます。
接続されている USB デバイスをもう一度プレイするときには、再度タッチします。

[◄◄], [►►] CD , Audio File , MPEG
早送りまたは早戻し

[I◄◄], [►►I] トラックサーチ / ファイルサーチ

[ ], [ ] Audio File , MPEG , JPEG
フォルダを選択します。

[List] Audio File , MPEG , JPEG
フォルダリストまたはファイルリストを表示します。(p26)

[ ] プレイ画面を表示します。

1 情報表示

CD ディスクテキストまたはトラックテキストを表示します。

Audio File, MPEG, JPEG
フォルダ名、ファイル名、タイトル、アーティスト名、またはアルバム名を表示します。

"Track" トラック番号表示

" " フォルダ番号表示

" " ファイル番号表示

"#### / ####" フォルダ中の全ファイル数およびファイル数表示

"►" プレイモード表示

"P"/ "R" プレイ時間表示
[TIME] にタッチすると、プレイ時間表示を変更できます。

[◄◄◄] ◄◄◄ にタッチすると、文字をスクロールできます。

マルチファンクションバー

[1/2] マルチファンクションバーの表示を切り替えます。

[ ] マルチファンクションバーを閉じます。

[ ] マルチファンクションバーを開きます。

次のページへ ►

CD

[REP]　現在のトラックをリピートします。

[RDM]　ランダムプレイを開始 / 終了します。曲がランダムな順でプレイされます。

[TIME]　プレイ時間表示を、トラックプレイ時間（“P”）またはディスクの残り時間（“R”）に切り替えます。

Audio File　MPEG　JPEG

[REP]　現在のファイルまたはデータを繰り返しプレイします。

[FREP]　現在のフォルダ内の曲またはデータを繰り返しプレイします。

[RDM]　ランダムプレイを開始 / 終了します。現在のフォルダ内のファイルがランダムな順でプレイされます。
フォルダ内にピクチャファイルしかない場合は使用できません。フォルダ内にピクチャファイルしかない場合は使用できません。

[4Line]/ [2Line]　情報表示の行数（4 行 /2 行）を切り替えます。

[FOLD]/ [FLIST]　フォルダリストを表示します。

[PLIST]　USB の Audio File
プレイリストを表示します。

[SLIDE]　Audio File，JPEG
フォルダ内のピクチャファイルを次々と表示します。フォルダ内にピクチャファイルがない場合は初期状態の背景が表示されます。
ピクチャファイルの表示時間の設定については、「DVD/CD を設定する」（p70）または「USB デバイスを設定する」（p70）をご覧ください。

[INFO]　Audio File
プレイ中の曲の楽曲情報（タグやプロパティ）を表示します。
MPEG，JPEG
プレイ中の画像の情報を表示します。

[LINK]　USB の Audio File
選択されているアーティストの曲をサーチします。詳しくは、「リンクサーチ」（p28）をご覧ください。

[Device]　USB
接続されている USB デバイス（またはパーティション）を選択します。詳しくは、「USB デバイスを選択する」（p27）をご覧ください。

リストでの選択する

フォルダリスト：メディアや機器に保存されているフォルダやオーディオ/ビデオ/ピクチャファイルを階層に従ってサーチします。
プレイリスト：USBデバイスに保存されている曲をリスト表示/サーチします。

1 ソース操作画面を表示する

詳しくは、「ソース操作画面で操作する」（p25）をご覧ください。

2 リスト選択を開始する

USB

• [List] にタッチすると、前回使ったフォルダリストまたはプレイリストが表示されます。

3 ファイルを選択する

フォルダリスト Disc/USB

1　タッチするとフォルダが開き、フォルダ内のファイルのプレイが始まります。

[ ]　にタッチすると、文字をスクロールできます。

[ROOT]　最上位階層に移動します。

[UP]　一階層上に移動します。

[TOP]　USB
最上位フォルダに移動します。

[CUR]　現在プレイ中のフォルダを表示します。

[CTRL]　ソース操作画面に戻ります。

プレイリスト USB の Audio File

1 下位レベルのカテゴリーに切り替えます。

[⏪] ⏪ にタッチすると、文字をスクロールできます。

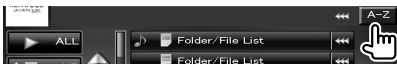
[▶ ALL] 選択したカテゴリー内の曲をリスト表示します。

[UP] 上位レベルのカテゴリーに移動します。

[TOP] 最上位レベルのカテゴリーに移動します。

[CUR] 現在のカテゴリーを表示します。

[CTRL] ソース操作画面を表示します。

頭文字で指定した位置に移動するときは

指定した頭文字の位置までスクロールします。

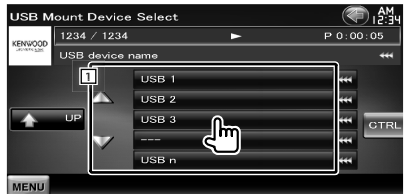
USBデバイスを選択する

USBデバイス（またはパーティション）を選択します。

1 ソース操作画面を表示する

詳しくは、「ソース操作画面で操作する」(p25)をご覧ください。

2 USB Device Select画面を表示する

3 USBデバイスを選択する

1 USB デバイスまたはパーティションを選択します。

[UP] Device Selection画面に戻ります。

[⏪] ⏪ にタッチすると、文字をスクロールできます。

[CTRL] ソース操作画面に戻ります。

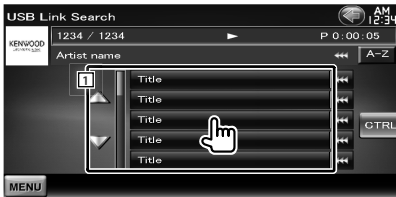
リンクサーチ (USBオーディオファイル)

同じアーティストの曲をサーチします。

1 ソース操作画面を表示する

詳しくは、「ソース操作画面で操作する」(p25) をご覧ください。

2 リンクサーチを開始する

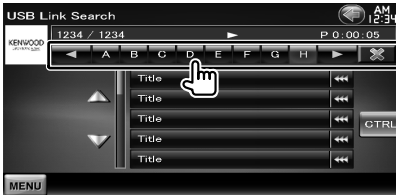
3 曲を選択する

1 タッチした曲がプレイされます。

[⏪] ⏪ にタッチすると、文字をスクロールできます。

[⇧ TOP] 最上位カテゴリーに移動します。

[♪≡ CUR] 現在のカテゴリーを表示します。

[CTRL] ソース操作画面に戻ります。

頭文字で指定した位置に移動するときは

指定した頭文字の位置までスクロールします。

プレイ画面で操作する (ビデオファイル、ピクチャファイル)

プレイ画面で基本的な操作は行えます。

1 プレイ画面を表示する

詳しくは、「映像ソースのプレイ画面での操作」(p17) をご覧ください。

2 プレイ画面で操作する

1, 3 ファイルサーチ

2 JPEG ピクチャ操作画面を表示します。(p29)

MPEG メニュー操作画面を表示します。(p30)

4 ソース情報を表示 / 消します。

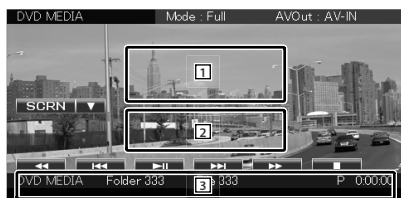
- ソース情報は、約5秒後に自動的に消えます。また、ソース情報が変わったときに、自動的に表示されます。

カンタン操作画面で操作する（ビデオファイル、ピクチャファイル）

基本的な操作を行うボタンを画面上に表示します。

1 カンタン操作画面を表示する

詳しくは、「カンタン操作画面を表示する」(p18) をご覧ください。

2 カンタン操作画面で操作する

1, 2 プレイ画面に戻ります。

3 ソース操作画面を表示します。

[◄◄], [►►] JPEG , MPEG
早送りまたは早戻し

[I◄◄], [►►I] ファイルサーチ
ピクチャファイルのスライドショウ表示時にタッチすると、オーディオファイルがサーチされます

[■] Disc ストップ
ボタンに二度タッチすると、次回のプレイ時は先頭からプレイされます。

[►II] プレイまたは一時停止

ピクチャファイルの操作

ピクチャの表示を調整します。

1 プレイ画面を表示する

詳しくは、「映像ソースのプレイ画面での操作」(p17) をご覧ください。

2 ピクチャ操作画面を表示する

3 ピクチャの表示を調整する

[⇕] 上下を逆にします。

[↶] 反時計回りに回転します。

[↷] 時計回りに回転します。

[Exit] 操作を終了します。

ビデオファイルの操作

ビデオメニューで設定します。

1 **プレイ画面を表示する**

詳しくは、「映像ソースのプレイ画面での操作」(p17) をご覧ください。

2 **メニュー操作画面を表示する**

3 **メニュー操作画面で操作する**

[SUB]　サブタイトルの言語を切り替えます。

[Audio]　音声の言語を切り替えます。

[Exit]　メニューを終了します。

iPodを聴く

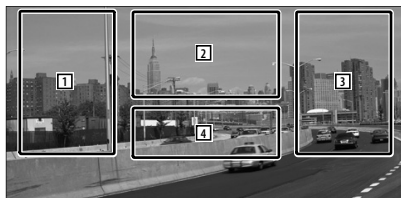
iPod接続ケーブルKNA-i909（別売品）で接続されているiPod内の曲をプレイしたりリストで観たりすることができます。また、ビデオ対応iPodを接続すると、ビデオファイルをプレイすることもできます。

プレイ画面で操作する

基本的な操作はプレイ画面で行えます。

1 プレイ画面を表示する

詳しくは、「映像ソースのプレイ画面での操作」(p17) をご覧ください。

2 プレイ画面で操作する

1, 3 曲やビデオファイルを選択します。

2 使用しません。

4 ソース情報を表示 / 消します。

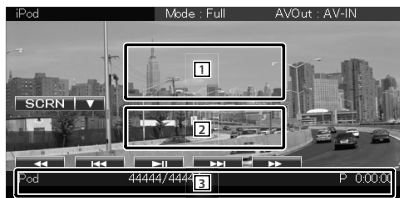
- ソース情報は、約5秒後に自動的に消えます。また、ソース情報が変わったときに、自動的に表示されます。
- iPodを接続するときには、あらかじめヘッドホンなどのアクセサリをはずしてください。それらをつけたまま接続すると、iPodが操作できなくなる場合があります。
- iPodを本機に接続したとき、接続前にiPod単体でプレイしていた曲からプレイされます（レジューム機能）。
- プレイする曲に映像が含まれていないときは、画面に"No Video Signal"が表示されます。

カンタン操作画面で操作する

基本的な操作を行うボタンを画面上に表示します。

1 カンタン操作画面を表示する

詳しくは、「カンタン操作画面を表示する」(p18) をご覧ください。

2 カンタン操作画面で操作する

1, 2 プレイ画面に戻ります。

3 ソース操作画面を表示します。

[◀◀], [▶▶] 早送りまたは早戻し

[|◀◀], [▶▶|] ミュージック / ビデオサーチ

[▶II] プレイまたは一時停止

ソース操作画面で操作する

プレイ中のいろいろな機能は、ソース操作画面で行えます。

1 ソース操作画面を表示する

詳しくは､「ソース操作画面を表示する」(p16) をご覧ください。

2 ソース操作画面で操作する

[►II]　プレイまたは一時停止

[◄◄], [►►]　早送りまたは早戻し

[I◄◄], [►►I]　曲 / ビデオファイルの選択

[List]　iPod リストを表示します。（p32）

[ ]　プレイ画面に戻ります。

1　情報表示
タイトル、アーティスト名、アルバム名、または iPod 名を表示します。

"##### / #####"　iPod 内の全曲数と、プレイ中の曲の番号

"►"　プレイモード表示

"P"　プレイ時間表示

[◄◄◄]　◄◄◄ にタッチすると、文字をスクロールできます。

マルチファンクションバー

[1/2]　マルチファンクションバーを切り替えます。

[ ]　マルチファンクションバーを閉じます。

[ ]　マルチファンクションバーを開きます。

[MUSIC]　ミュージックカテゴリーのリストを表示します。

[VIDEO]　ビデオカテゴリーのリストを表示します。

[REP]　現在のファイルまたはデータを繰り返しプレイします。

[RDM]*　ランダムプレイを開始 / 終了します。

[ARDM]*　アルバムランダムプレイを開始 / 終了します。
アルバムランダムプレイでは、現在のアルバム内の曲をランダムにプレイします。

[INFO]　プレイ中の曲またはビデオファイルの情報を表示します。

[LINK]*　 現在のアーティストの他の曲をサーチします。 詳しくは、「リンクサーチ」(p33) をご覧ください。

- * ビデオファイルのプレイ中には操作できません。

iPodのリストで選択する

iPod内の曲やビデオファイルのリストを表示します。

1 ソース操作画面を表示する

詳しくは､「ソース操作画面で操作する」(p32) をご覧ください。

2 iPodのリストを表示する

3 曲（またはビデオファイル）を選択する

1　カテゴリーや曲がリスト表示されます。カテゴリーにタッチすると、さらに下位のカテゴリーが表示されます。曲名が表示されたら、曲名にタッチするとプレイされます。
[►II] ボタンが表示されているときには、それにタッチすると、カテゴリー内のすべての曲がプレイされます。

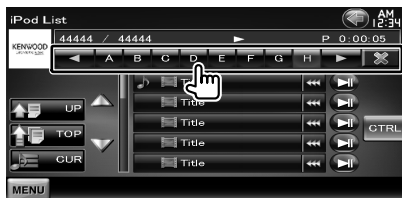
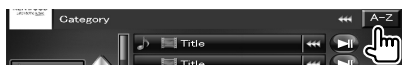
[◄◄◄]　◄◄◄ にタッチすると、文字をスクロールできます。

[UP]　元のカテゴリーに戻ります。

[TOP]　トップカテゴリーに戻ります。

[CUR]　現在のカテゴリーを表示します。

[CTRL]　ソース操作画面に戻ります。

頭文字で指定した位置に移動するときは

指定した頭文字の位置までスクロールします。

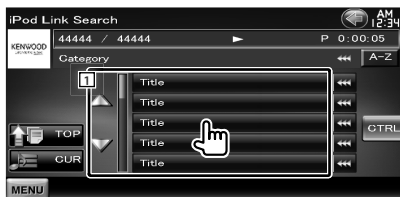
リンクサーチ（音楽ファイル）

プレイ中の曲と同じアーティストの曲をサーチします。

1 ソース操作画面を表示する

詳しくは、「ソース操作画面で操作する」（p32）をご覧ください。

2 リンクサーチを開始する

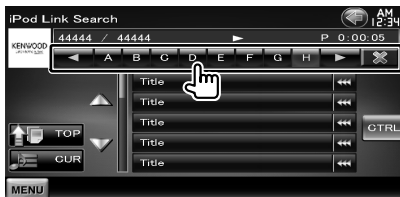
3 曲を選択する

1　タッチした曲がプレイされます。

[⯬]　⯬ にタッチすると、文字をスクロールできます。

[TOP]　トップカテゴリーに戻ります。

[CUR]　現在のカテゴリーを表示します。

[CTRL]　ソース操作画面に戻ります。

頭文字で指定した位置に移動するときは

指定した頭文字の位置までスクロールします。

ラジオを聴く

Tunerソースでは、いろいろな操作ができます。

ソース操作画面で操作する

ソース操作画面で各種の操作を行います。

1 ソース操作画面を表示する

詳しくは、「ソース操作画面を表示する」(p16)をご覧ください。

2 ソース操作画面で操作する

[FM]　FM バンド（FM1/2）を切り替えます。

[AM]　AM バンド（AM1/2）を切り替えます。

[|◀◀], [▶▶|]　選局します。
[SEEK] ボタンにタッチすると、選局方法を切り替えることができます。

[List]　Tuner Preset List 画面を表示します。詳しくは、「プリセット局を選局する」(p35) をご覧ください。

1　情報表示
番組名、タイトルとアーティスト名、放送局名を表示します。

"FM"/ "AM"　バンド表示

"Preset"　プリセット番号表示

"MHz"/ "kHz"　周波数表示

マルチファンクションバー

[1/2]　マルチファンクションバーを切り替えます。

[✖]　マルチファンクションバーを閉じます。

[⇦]　マルチファンクションバーを開きます。

[P1] – [P6]　プリセットした放送局を選択します。
プリセット方法については、「オートメモリー」(p35) または「マニュアルメモリー」(p36) をご覧ください。

[SEEK]　選局方法を切り替えます。
ボタンにタッチするたびに、選局方法は次の順で切り替わります。

表示	設定
“AUTO1”	受信状態の良い放送局を受信します。
“AUTO2”	プリセットされている放送局を順に受信します。
“MANU”	1ステップごと周波数を変えて受信します。

[AME]　オートメモリーモードに切り替えます。
詳しくは、「オートメモリー」(p35) をご覧ください。

[PRE]　プリセットされている放送局のリストを表示します。

[NAME]　放送局名を設定します。詳しくは、「放送局に名前をつける」(p36) をご覧ください。

[Mono]　FM　モノラル音声で受信します。

プリセット局を選局する

プリセットされている放送局から選局します。

1 ソース操作画面を表示する

詳しくは、「ソース操作画面で操作する」(p34)をご覧ください。

2 TUNER Preset List画面を表示する

3 選局する

1　プリセットされている放送局のリストが表示されます。タッチして選局します。

[CTRL]　ソース操作画面に戻ります。

オートメモリー

受信状態の良い放送局をメモリーします。

1 ソース操作画面を表示する

詳しくは、「ソース操作画面で操作する」(p34)をご覧ください。

2 メモリーするバンドを選択する

3 オートメモリーモードをオンにする

4 オートメモリーを開始する

6 局がメモリーされるか、受信が一巡したら、オートメモリーは終了します。

• 約10秒以内に操作しないと、オートメモリーは終了されます。

マニュアルメモリー

受信中の放送局をメモリーします。

1 ソース操作画面を表示する

詳しくは、「ソース操作画面で操作する」(p34)をご覧ください。

2 メモリーする放送局を受信する

3 メモリーする

プリセット番号が表示されるまでタッチし続けます。

放送局に名前をつける

放送局に名前をつけます。

1 名前をつける放送局を受信する

詳しくは、「ソース操作画面で操作する」(p34)をご覧ください。

2 操作を開始する

3 名前を入力する

詳しくは、「文字を入力する」(p38) をご覧ください。

4 操作を終了する

Bluetoothオーディオ

Bluetooth対応オーディオプレーヤーや携帯電話内の曲をプレイすることができます。
Bluetooth機器の接続には、BluetoothユニットKCA-BT300（別売品）およびKNA-BT909（別売品）が必要です。

- Bluetooth対応オーディオプレーヤーや携帯電話をBluetoothユニットにあらかじめ登録しておく必要があります。Bluetoothユニットの取扱説明書をよくお読みください。

お使いになる前に

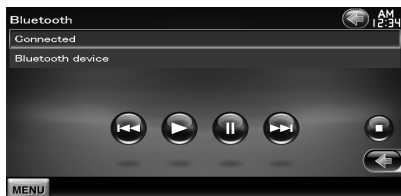
- Bluetooth対応オーディオプレーヤーや携帯電話をBluetoothユニットにあらかじめ登録しておく必要があります。詳しくは、「Bluetooth機器を登録する」(p61)をご覧ください。
- 2台以上のポータブルオーディオプレーヤーや携帯電話が登録されているときには、接続するBluetooth機器を選択する必要があります。詳しくは、「登録済みのBluetooth機器を接続する」(p63)をご覧ください。
- 音声を出力するスピーカーを設定できます。詳しくは、「Bluetoothハンズフリー/オーディオ出力を設定する」(p64）をご覧ください。

ソース操作画面で操作する

各種の操作を行うソース操作画面を表示します。

1 ソース操作画面を表示する

詳しくは､「ソース操作画面を表示する」(p16)をご覧ください。

2 ソース操作画面を表示する

[▶]　プレイ

[■]　ストップ

[❙❙]　一時停止

[|◀◀], [▶▶|]　ファイルサーチ

- お使いのBluetooth対応オーディオプレーヤーがBluetoothプロファイルAVRCPに対応していない場合は、画面にボタンは表示されません。
Bluetooth対応オーディオプレーヤー側で操作してください。

文字を入力する

放送局に名前をつけるときなどの文字を入力します。

文字入力画面

1　文字を入力します。

[◀], [▶]　カーソルを移動します。

[▲], [▼]　文字のボタンをスクロールします。

[QWE]/ [ABC]　文字のボタンの並びを設定します。
ABC：アルファベット順配列
QWE：タイプライタ順配列

[Clear]　入力した文字を削除します。
カーソルを削除する文字に合わせてこのボタンを押すと削除できます。
1 秒以上タッチすると、入力した文字すべてを削除できます。

[Space]　スペースを入力します。

- 文字を入力するときには、パーキングブレーキをかけてください。

画面設定

画質を調整します。

画面設定

1 カンタン操作画面を表示する

詳しくは、「カンタン操作画面を表示する」(p18) をご覧ください。

2 画質調整画面を表示する

3 画質を調整する

[Bright]　明るさ

[Tint]　色の濃さ
ビデオ映像、iPod またはリアカメラの映像が表示されているときに調整できます。

[Color]　色合い
ビデオ映像、iPod またはリアカメラの映像が表示されているときに調整できます。

[Contrast]　コントラスト

[Black]　黒レベル

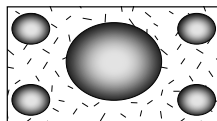
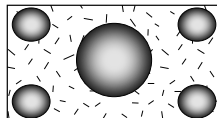
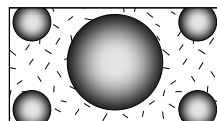
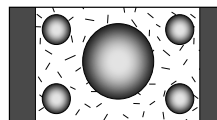
[Sharpness]　シャープネス
ビデオ映像、iPod またはリアカメラの映像が表示されているときに調整できます。

[Dimmer]　ディマモードを設定します。

“ON”：　ディマ機能オン（画面は暗くなります）
“OFF”：　ディマ機能オフ
“SYNC”：自動車のライトスイッチの状態に連動して、ディマ機能がオン / オフします。

[Mode]　画面モードを選択します。
次のどのモードでも選択できます。
“Full”、“Just”、“Zoom”、“Normal”

- 画質調整画面は、パーキングブレーキをかけているときに表示されます。
- 静止画の画質は、ソースごとに設定できます。
- 画質は、「画質を調整する」(p61)といったメニューなどで調整することもできます。

“Full”

“Just”

“Zoom”

“Normal”

ハンズフリー通話

ハンズフリーモードでいろいろな機能を使用できます。
Bluetooth機器の接続には、BluetoothユニットKCA-BT300（別売品）およびKNA-BT909（別売品）が必要です。

- 携帯電話をBluetoothユニットにあらかじめ登録しておく必要があります。Bluetoothユニットの取扱説明書をよくお読みください。
- 電話帳を使うためには、携帯電話からダウンロードしておく必要があります。詳しくは、Bluetoothユニットおよび携帯電話の取扱説明書ご覧ください。

お使いになる前に

- 携帯電話をBluetoothユニットにあらかじめ登録しておく必要があります。詳しくは、「Bluetooth機器を登録する」(p61)をご覧ください。
- 2台以上の携帯電話が登録されているときには、接続するBluetooth機器を選択する必要があります。詳しくは、「登録済みのBluetooth機器を接続する」(p63)をご覧ください。
- 電話帳を使うためには、携帯電話からダウンロードしておく必要があります。詳しくは、Bluetoothユニットおよび携帯電話の取扱説明書ご覧ください。詳しくは、「電話帳をダウンロードする」(p40)をご覧ください。
- Bluetooth対応のユニットは、Bluetooth SIGによって規定された手続きに従ってBluetooth規格への適合が公認されています。しかし、これはご使用の携帯電話と接続できることを保証するものではありません。
- 接続可能な携帯電話については、下記のサイトでご確認ください。
  URL : http://www.kenwood.com/cs/ce/bt/
- 音声を出力するスピーカを設定することができます。詳しくは、「Bluetoothハンズフリー/オーディオ出力を設定する」(p64)をご覧ください。

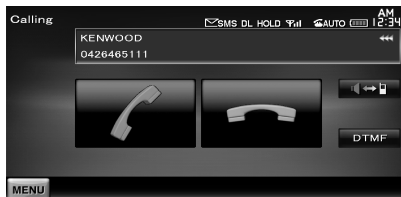
電話帳をダウンロードする

本機で電話帳を使用するために、携帯電話から電話帳をダウンロードします。

1 携帯電話側で操作して、携帯電話の電話帳データを本機に送る

2 携帯電話側で操作して、ハンズフリー接続を開始する

- 電話帳の自動ダウンロード機能対応の携帯電話で、何らかの原因で自動ダウンロードされない場合は、上記の方法で、手動でダウンロードしてください。
- 携帯電話の操作については、携帯電話に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 電話番号は、登録済みの各携帯電話に1000件まで登録できます。
- 登録する電話番号は、名前は半角50文字以内、電話番号は32桁以内です。
- お使いの携帯電話によっては、次の制限事項があります。
  - 通常は、電話帳データはダウンロードできません。
  - ダウンロードした電話帳の文字が文字化けしている場合があります。
  - 電話帳データにイメージが含まれていると、ダウンロードされません。画像サイズによっては、長時間(数時間から1日）かければダウンロードされる場合もあります。
- 電話帳のダウンロードを中止する場合は、携帯電話側で操作してください。

電話がかかってきたとき

[ ] 着信した電話を取ります。

[ ] 着信拒否します。

- リアカメラの映像が映っているときは、着信してもこの画面は表示されません。[TEL]ボタンを押すか、シフトノブをリバース以外に切り替えると表示されます。

通話中は

[ ] 音声のスピーカー出力 / 電話機出力を切り替えます。

[DTMF] ダイヤルトーンを送出します。
詳しくは、「ダイヤルトーンサービスを使う」(p45) をご覧ください。

[ ] 電話を切ります。

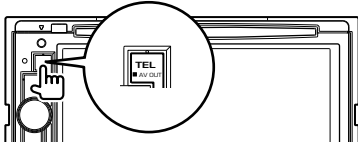
割り込み通話

[ ]
- 通話中の電話を保留し、かかってきた電話に出ます。
- 通話中の電話と保留中の電話を切り替えます。

[ ]
- 通話中の電話を切り、かかってきた電話に応答します。
- 通話中の電話を切り、保留中の電話に応答します。

電話をかける

各種の機能はHands Free画面で操作できます。

1 Hands Free画面を表示する

2 ダイヤル方法を選択する

1 電話をかける電話番号が表示されます。電話帳に登録されていれば、名前で表示されます。

[ ] 電話をかけます

[Redial] リダイヤルします。

[Preset1], [Preset2], [Preset3]
各々のボタンにプリセットした電話番号を表示します。登録方法については、「電話番号をプリセットする」(p49) をご覧ください。

[Phonebook] Phonebook 画面を表示します。詳しくは、「電話帳で電話をかける」(p43) をご覧ください。

[Outgoing Calls] Outgoing Calls 画面を表示します。詳しくは、「発着信履歴で電話をかける」(p44) をご覧ください。

[Incoming Calls] Incoming Calls 画面を表示します。詳しくは、「発着信履歴で電話をかける」(p44) をご覧ください。

[Missed Calls] Missed Calls 画面を表示します。詳しくは、「発着信履歴で電話をかける」(p44) をご覧ください。

[Direct Number] Dialing Display 画面を表示します。詳しくは、「ダイヤルして電話をかける」(p43) をご覧ください。

[Voice] 音声認識を開始します。
詳しくは、「音声認識で電話をかける」(p44) をご覧ください。

[BT SETUP] Bluetooth SETUP 画面を表示します。詳しくは、「Bluetooth 機器を登録する」(p61) をご覧ください。

[TEL SETUP] Hands Free Setup 画面を表示します。詳しくは、「ハンズフリーを設定する」(p46) をご覧ください。

- 安全のため、運転中は使用できない機能があります。使用できない機能のボタンは押しても無効です。
- Hands Free画面が表示されるとき、接続されている携帯電話の名前が約5秒間表示されます。
- 画面に表示される や といった状態を表すアイコンは、携帯電話上での表示と異なる場合があります。
- 携帯電話を秘話モードに設定すると、ハンズフリー機能は無効になります。

電話帳で電話をかける

電話帳に登録されている電話番号に電話をかけます。

1 Hands Free画面を表示する

詳しくは、「電話をかける」（p42）をご覧ください。

2 Phonebook画面を表示する

3 発信先の名前を選択する

1 電話帳のリスト

2 頭文字で電話帳を頭出しします。

[◀◀◀]　◀◀◀ にタッチすると、文字をスクロールできます。

4 電話番号を選択する

5 発信する

- 運転中は使用できません。
- 電話帳を使用するためには、携帯電話からダウンロードしておく必要があります。詳しくは、Bluetoothユニットとお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 名前の登録のない頭文字は表示されません。
- 日本語による検索はできません。

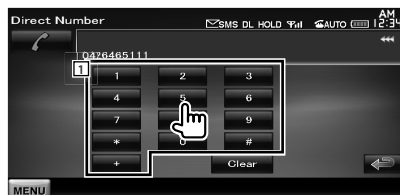
ダイヤルして電話をかける

ダイヤルして電話をかけます。

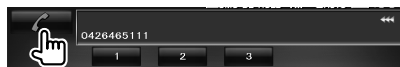
1 Hands Free画面を表示する

詳しくは、「電話をかける」（p42）をご覧ください。

2 number input画面を表示する

3 電話番号を入力する

1 テンキーで電話番号を入力します。

[Clear]　電話番号をクリアします。

4 発信する

緑の電話アイコンにタッチすると、入力した電話番号に発信します。

- 入力できる電話番号は32桁までです。
- 運転中は使用できません。

発着信履歴で電話をかける

発信履歴(Outgoing Calls)、着信履歴(Incoming Calls)、または不在着信履歴 (Missed Calls) から電話をかけます。

1 Hands Free画面を表示する

詳しくは、「電話をかける 」(p42)をご覧ください。

2 Outgoing Calls（発信履歴）画面、Incoming Calls（着信履歴）画面、または Missed Calls（不在着信履歴）画面を表示する

3 発信先を選択する

例：Outgoing Calls 画面

選択した電話番号に電話をかけます。

4 発信する

- Outgoing Calls画面、Incoming Calls画面、Missed Calls画面に表示される電話番号は、本機が受け取った電話番号です。携帯電話に登録されたものではありません。

音声認識で電話をかける

音声認識で電話をかけます。

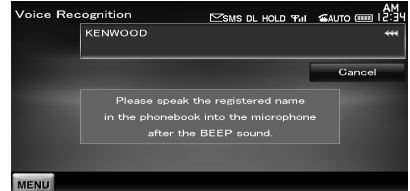
- 音声認識を使うためには、電話帳に声が登録されている必要があります。詳しくは、「音声登録」(p47)をご覧ください。または、電話帳の電話番号カテゴリー（Home、Office、Mobile等）で音声認識を実行するためには、単語登録を行う必要があります。詳しくは、「単語登録」(p48)をご覧ください。

1 Hands Free画面を表示する

詳しくは、「電話をかける 」(p42)をご覧ください。

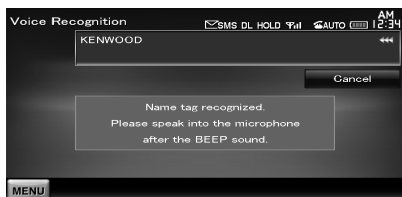
2 Voice Recognition画面を表示する

■ *ひとつの名前にひとつの電話番号のみの場合は*

3 電話帳に登録されている名前を発声する

ビープ音が鳴ってから 2 秒以内に発声してください。

4 発信する

■ ひとつの名前に2つ以上の電話番号が登録されている場合は

5 カテゴリーに登録されている単語を発声する

ビープ音が鳴ってから 2 秒以内に発声してください。

6 発信する

■ 同じカテゴリーに2つ以上の電話番号が登録されている場合は手順7へ続く。

7 カテゴリーを選択する

電話番号のカテゴリーを選択します。

8 発信する

・音声が認識されなかった場合にはメッセージが表示されます。つづいての操作についてはメッセージをお読みください。

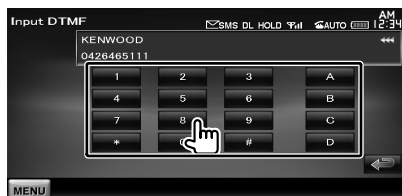
ダイヤルトーンサービスを使う

通話中にダイヤルトーンを送出します。

1 通話画面を表示する

詳しくは、「ダイヤルして電話をかける」(p43)をご覧ください。

2 Input DTMF画面を表示する

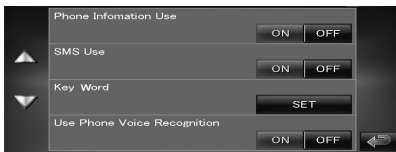
3 通話中にダイヤルトーンを送出する

ハンズフリーを設定する

ハンズフリーを設定します。

1 Hands Free画面を表示する

詳しくは、「電話をかける」(p42)をご覧ください。

2 Hands Free Setup画面を表示する

3 各項目を設定する

[Auto Response]　着信してから自動応答するまでの時間を設定します。(“8”)
“OFF”： 自動応答しません
“0-99”：着信音が鳴る時間を設定します(秒単位)。

[Call Beep]　着信をビープ音で知らせます。("ON")
“ON”： ビープ音が鳴ります。
“OFF”：ビープ音は鳴りません。

[SMS Receive Beep]　SMS の着信をビープ音で知らせます。(“ON”)
“ON”： ビープ音が鳴ります。
“OFF”：ビープ音は鳴りません。

[Phone Information Use]　携帯電話の電話帳、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴の使用の可否を設定します。(“ON”)
“ON”： 使用します。
“OFF”：使用しません

[SMS Use]　SMSの使用の可否を設定します。(“ON”)
“ON”： SMS は使用できます。
“OFF”：使用できません。

[Key Word]　電話番号のカテゴリーを選択するための音声を登録します。詳しくは、「単語登録」(p48)をご覧ください。

[Use Phone Voice Recognition]
音声認識でダイヤルするかどうかを設定します。(“ON”)

- 本機と携帯電話で自動応答時間の設定が異なる場合、短いほうの設定時間が有効になります。

音声登録

電話帳の名前に音声認識の声を登録します。35フレーズまで登録できます。

1 Phonebook Detail画面を表示する

「電話帳で電話をかける」(p43) で示した手順で実行します。

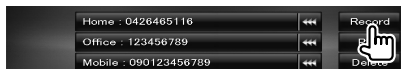
2 登録する名前を選択する

1 名前を選択します。

[Record] 選択した電話帳に音声認識用の音声を登録します。同じ携帯電話にすでに35フレーズ登録されている場合は、[Record] ボタンはタッチできません。

[Play] 選択した電話帳に登録されている音声を再生します。

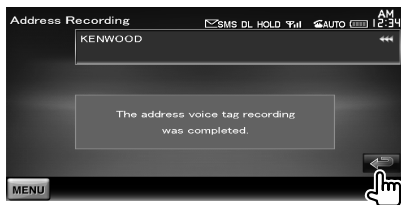
[Delete] 選択した電話帳に登録されている音声を削除します。
確認のために画面にタッチしてください。
[Yes] にタッチすると削除され、[No] にタッチすると中止されます。

3 音声認識画面を表示する

4 登録する名前を発声する（1回目）

ビープ音が鳴ってから 2 秒以内に発声してください。

5 登録する名前を発声する（2回目）

ビープ音が鳴ってから 2 秒以内に発声してください。

6 音声認識を終了する

- 音声が認識されなかった場合にはメッセージが表示されます。つづいての操作についてはメッセージをお読みください。
- 音声が違った場合は、1回目の発声からやりなおしてください。

単語登録

電話番号のカテゴリーの音声を登録します。

1 Hands Free Setup画面を表示する

詳しくは、「ハンズフリーを設定する」(p46)をご覧ください。

2 Key Word List画面を表示する

3 登録する電話番号のカテゴリーを選択する

1 電話番号のカテゴリーを選択します。
すでに音声が登録されているカテゴリーは"REC"が表示されます。

[Record] 電話番号のカテゴリーの音声を登録します。

[Play] 電話番号のカテゴリーに登録されている音声を再生します。

[Delete] 電話番号のカテゴリーに登録されている音声を削除します。
確認のために画面にタッチしてください。
[Yes] にタッチすると削除され、[No] にタッチすると中止されます。

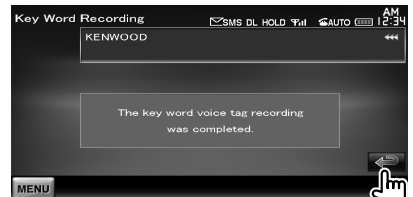
4 音声認識画面を表示する

5 登録する単語を発声する（1回目）

ビープ音が鳴ってから 2 秒以内に発声してください。

6 登録する単語を発声する（2回目）

ビープ音が鳴ってから 2 秒以内に発声してください。

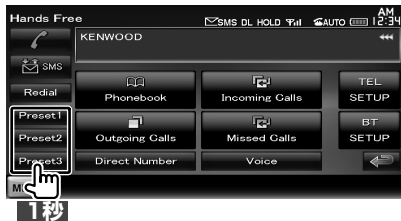
7 音声認識を終了する

- 音声が認識されなかった場合にはメッセージが表示されます。つづいての操作についてはメッセージをお読みください。
- 音声が違った場合は、1回目の発声からやりなおしてください。

電話番号をプリセットする

頻繁にかける相手の電話番号をプリセットボタンに登録します。

1 Hands Free画面を表示する

詳しくは、「電話をかける」(p42) をご覧ください。

2 登録先のプリセットボタンを選択する

- どのボタンにも登録されていない場合は、ボタンにタッチすると手順 3 に移動します。

3 登録する電話番号のサーチ方法を選択する

[ ]　SMS の受信メッセージリストから選択します。

[ ]　SMS の送信メッセージリストから選択します。

[ ]　電話帳から選択します。

[ ]　発信履歴から選択します。

[ ]　着信履歴から選択します。

[ ]　不在着信履歴から選択します。

[Direct Number]　電話番号を入力して登録します。

[Voice]　音声認識で登録します。

[Memory]　現在表示されている電話番号を登録します。

[Delete]　現在表示されている電話番号を削除します。確認のために画面にタッチしてください。[Yes] にタッチすると削除され、[No] にタッチすると中止されます。

4 各々の方法で登録する電話番号を探す

5 電話番号を登録する

SMS（ショートメッセージ）

SMS機能を使用できます。

1 Hands Free画面を表示する

詳しくは、「電話をかける」(p42) をご覧ください。

2 SMS Select画面を表示する

3 使用する機能を選択する

[ ]　SMS Create Menu 画面を表示します。詳しくは、「メッセージを書くときは」をご覧ください。

[ ]　受信メッセージのリストを表示します。

[ ]　送信メッセージのリストを表示します。

[ ]　SMS Create Menu 画面を表示します。詳しくは、「メッセージを書くときは」をご覧ください。電源オン後にメッセージを作ったことがある場合は、ボタンが使用可能な状態に鳴ります。

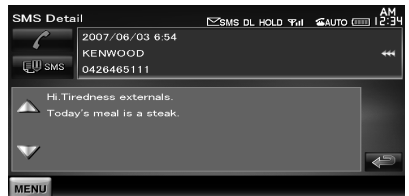
[Download]　携帯電話から SMS メッセージを読み込みます。

4 表示するメッセージを選択する

1　表示するメッセージを選択します。

[DISP]　選択したメッセージを表示します。

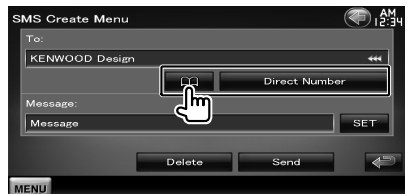
- 大量の SMS メッセージが携帯電話にある場合、リストが正しく表示されない場合があります。

SMS Detail画面

[SMS]　返信を書きます。

注 意

運転者は、走行中にショートメッセージを読まないでください。
事故の原因となります。

メッセージを書くときは

1 電話番号を入力する / 連絡先を選択する

[ ]　電話帳から選択します。

[Direct Number]　電話番号を入力します。

[SET]　Create SMS Message 画面を表示します。

[Send]　メッセージを送信します。

[Delete]　作成中のメッセージを削除します。
確認のために画面にタッチしてください。
[Yes] にタッチすると削除され、[No] にタッチすると中止されます。

2 **Create SMS Message画面を表示する**

3 **メッセージを書く**

1　文字を入力します。

[◄], [►]　カーソルを移動します。

[▲], [▼]　上下にスクロールします。

[QWE]/ [ABC]　キーの配列を切り替えます。
ABC：アルファベット順配列
QWE：タイプライター順配列

[Clear]　入力した文字を削除します。
1 秒以上タッチすると、入力した文字すべてを削除できます。

[Space]　スペースを入力します。

[SET]　メッセージを保存し、Create SMS Menu 画面に戻ります。
保存しておける未送信メッセージは一通だけです。

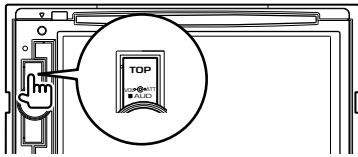
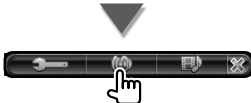
4 **メッセージを送信する**

• 日本語は入力できません。

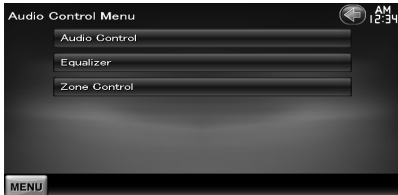
オーディオコントロール

オーディオコントロールメニュー

本機の音響効果はAudio Control Menu画面で設定できます。

1 Top Menu画面を表示する

2 Audio Control Menuを表示する

本書では、上記のように選択することを下記のように表します。

[ ] ▶ [ ] の順にタッチします。

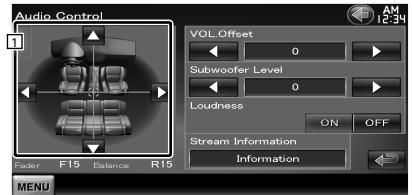
3 調整する項目を選択する

項目	ページ
[Audio Control]	52
[Equalizer]	53
└ [Tone]	53
[Zone Control]	54

バランスを調整する

左右および前後の音量バランスを調整します。

1 Audio Control画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [Audio Control] の順にタッチします。(p52)

2 各項目を設定する

1 前後および左右の音量バランスを、調整画面にタッチして調整します。

[◀], [▶] 左右の音量バランスを調整します。

[▲], [▼] 前後の音量バランスを調整します。

[VOL.Offset] ソース後との音量差を少なくするために、現在のソースの音量を微調整します。

- 最初にボリュームを上げておいてから [Vol. Offset] で下げようとすると、他のソースに切り替えたときに非常に大きな音が出る場合があります。

[Subwoofer Level] サブウーファの音量を調整します。
これは、サブウーファがオンに設定されているときのみ調整できます。詳しくは、「スピーカーを設定する」(p66) をご覧ください。

[Loudness] ラウドネス機能をオン / オフします。
オンに設定すると、音量が小さいときに高音と低音が強調されます。

- フェダー、サブウーファレベル、ラウドネスは、ソース設定がオフのときに設定できます。詳しくは、「ゾーンコントロール」(p54) をご覧ください。

[Stream Information]　現在のソース情報を表示します。
ストリーム（Dolby Digital、dts、Linear PCM、MPEG、MP3、WMA、または AAC）が表示されます。

イコライザを設定する

イコライザカーブを設定します。

1 Equalizer画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [Equalizer] の順にタッチします。(p52)

2 各項目を設定する

[SystemQ]　イコライザカーブのタイプを選択します。
選択できるイコライザカーブは次のとおりです。
“Natural” / “Rock” / “Pop” / “Easy” / “Top40” / “Jazz” / “User”

- “User”：
ユーザ独自のイコライザカーブを設定できます。詳しくは、「音質を設定する」(p53) をご覧ください。

[SystemQ-EX]　トーンカーブを設定するための調整を行います。
オフに設定すると、設定できるのはレベルだけになります。

[Tone]　Tone Control 画面を表示します。(p53)

イコライザカーブを調整する

イコライザカーブを調整します。

1 Equalizer画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [Equalizer] の順にタッチします。(p52)

2 Tone Control画面を表示する

3 音質を設定する

[Bass]　低音の調整項目を表示します。

[Middle]　中音の調整項目を表示します。

[Treble]　高音の調整項目を表示します。

[Flat]　調整レベルを 0 にします（フラット）。

[FREQ]　中心周波数を設定します。

[Level]　レベルを設定します。

[Q Factor]　クォリティファクタを設定します（[Bass] および [Middle] のみ）。

[Bass DC EXT]　低音中心周波数伸張（[Bass] のみ）
オンに設定すると、低音中心周波数が低域側に約 20% 伸びた状態になります。

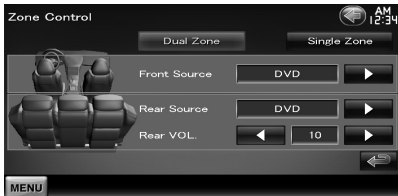
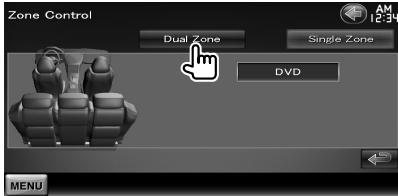
[SW Level]　サブウーファの音量を調整します。
これは、サブウーファがオンに設定されているときのみ調整できます。詳しくは、「スピーカーを設定する」(p66) をご覧ください。

ゾーンコントロール

フロントとリアのソースを割り当てます。

1 Zone Control画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [Zone Control] の順にタッチする。(p52)

2 Zone Controlを設定する

[Single Zone]　シングルゾーンに設定します。

[Dual Zone]　デュアルゾーンに設定します。

[Front Source]　フロント側のソースを設定します。

[Rear Source]　リア側のソースを設定します。

- リア側のソースが切り替えられると、AV OUTPUT 端子に出力されるソースも同じものに切り替わります。

[Rear VOL.]　リア側の音量を調整します。

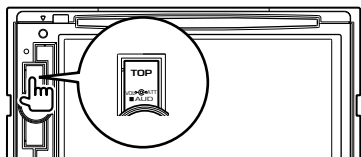
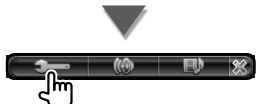
- デュアルゾーンでは、次の制限があります。
  - サブウーファからは何も出力されません。
  - 「イコライザを調整する」(p53) と「スピーカーを設定する」(p66) は使用できません。

セットアップ

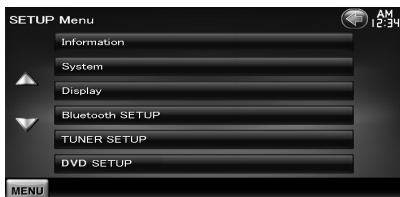
本機の各種の項目を設定できます。

セットアップメニューを表示する

本機の各種の設定を行うセットアップメニューを表示します。

1 Top Menu画面を表示する

2 SETUP Menu画面を表示する

本書では、上記のように選択することを次のように表記します。

[ ] ▶ [ ] の順にタッチします。

3 設定する項目を選択する

[▲], [▼]　セットアップメニューをスクロールします。

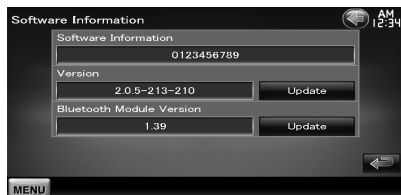
- [AV-IN SETUP]と[Audio SETUP]はロックされています。ロックされている項目は、鍵マーク( )が反転表示されます。詳しくは、設定を保存する/呼び出す」(p58)をご覧ください。

項目	ページ
[Information]	
└ [Software]	56
[System]	
├ [User Interface]	56
├ [Touch]	57
├ [Clock]	57
├ [Security]	58
└ [SETUP Memory]	58
[Display]	
├ [Background]	59
├ [Color]	60
└ [Screen Adjust]	61
[Bluetooth SETUP]	61
[DVD SETUP]	67
[iPod SETUP]	71
[USB SETUP]	70
[AV-IN SETUP]	64
[Audio SETUP]	
└ [Speaker Select]	66
[AV Interface]	65

ソフトウェア情報

ご使用のユニットのソフトウェアのバージョンを表示します。

1 Software Information画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [Information] ▶ [Software] の順にタッチします。(p55)

ソフトウェアのバージョンが表示されます。

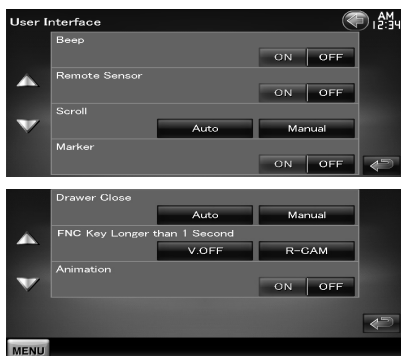
- ソフトウェアのアップデート方法については、アップデートソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

ユーザインタフェース

ユーザインタフェースに関する項目を設定します。

1 User Interface画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [System] ▶ [User Interface] の順にタッチします。(p55)

2 各項目を設定する

[Beep]　操作音をオン / オフします。(“ON”)

[Remote Sensor]　リモコンの使用の可否を設定します。(“ON”)

[Scroll]　ソース操作画面で文字のスクロール方法を設定します。(“Auto”)
“Auto”：　自動的にスクロールします。
“Manual”：手動でスクロールします。

[Marker]　画面にタッチするときに、目標を表示するかどうかを設定します。(“OFF”)

[Drawer Close]　ファンクションバーを自動的に閉じるかどうかを設定します。(“Manual”)

[FNC Key Longer than 1 Second]　[FNC] ボタンを 1 秒以上押したときの機能を設定します。(“R-CAM”)
“V.OFF”：　ディスプレイをオフにします。
“R-CAM”：リアカメラの画像に切り替えます。

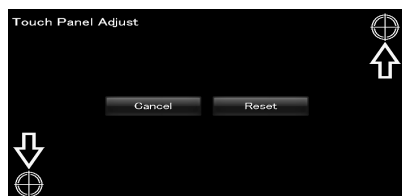
[Animation]　アニメーション表示を設定します。(“ON”)

タッチ位置を補正する

画面にタッチして操作するときのタッチ位置を補正します。

1 Touch panel Adjust画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [System] ▶ [Touch]
の順にタッチします。(p55)

2 タッチ位置を調整する

画面に表示されるメッセージに従って、 マークの中央にタッチします。

[Cancel]　操作を中止し、Touch Panel Adjust 画面に戻ります。

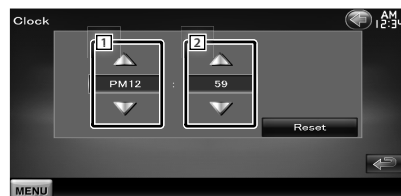
[Reset]　初期状態に戻します。

時計を合わせる

時刻を合わせます。

1 Clock画面を表示する

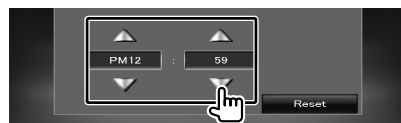
[ ] ▶ [ ] ▶ [System] ▶ [Clock]
の順にタッチします。(p55)

2 時計を設定する

1　“時”を調整します。

2　“分”を調整します。

[Reset]　00 分に合わせます。

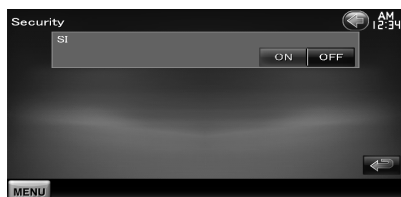
例：3:00 – 3:29 ➡ 3:00
3:30 – 3:59 ➡ 4:00

3 時刻を合わせる

セキュリティインジケータを設定する

セキュリティインジケータを設定しておくと、盗難防止の手助けとなります。

1 Security画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [System] ▶ [Security] の順にタッチします。(p55)

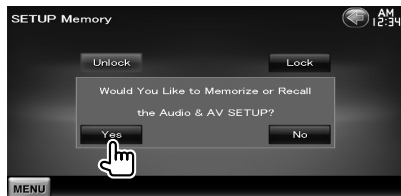
▼

[SI]　セキュリティインジケータをオンまたはオフに設定します。
"ON" に設定すると、エンジンキーをオフにしたときに、フロントパネルのセキュリティインジケータが点滅します。("OFF")

設定を保存する/呼び出す

各種オーディオ設定、AV入力設定（AV-IN SETUP）、AVインタフェース設定（AV Interface)、オーディオ設定（Audio SETUP）を保存します。
また、保存した設定はいつでも呼び出すことができます。たとえば、バッテリーの交換で設定が消えてしまったときなど、設定を呼び出して、設定状態を元に戻すことができます。

1 SETUP Memory画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [System] ▶ [SETUP Memory] の順にタッチします。(p55)

2 設定の保存/呼び出しを開始する

[Lock]　AV-IN SETUP と Audio SETUP の設定をロックします。[Lock] を選択すると、これらの設定を変更できなくなります。

[Yes]　設定を保存または呼び出します。

[No]　中止するときは [No] にタッチします。SETUP Menu 画面に戻ります。

3 動作を選択する

[Recall]　保存されている設定を呼び出します。

[Memory]　設定を保存します。

[Clear]　設定の保存をクリアします。

4 保存または呼び出しを実行する

Audio SetupとAV Interfaceの設定を保存するときは

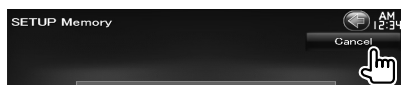
すでに設定が保存されていると、確認のメッセージが表示されます。保存するときは [Yes]、保存しないときは [No] にタッチします。

設定を呼び出すときは

画面にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。呼び出すときは [Yes]、呼び出さないときは [No] にタッチします。

保存されている設定をクリアするときは

画面にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。クリアするときは [Yes]、クリアしないときは [No] にタッチします。

5 設定の保存/呼び出しを終了する

背景画像を読み込む

接続されているUSBデバイスから画像を読み込み、背景画像として設定します。

1 読み込む画像が保存されているUSBデバイスを接続する

2 Background画面を表示する

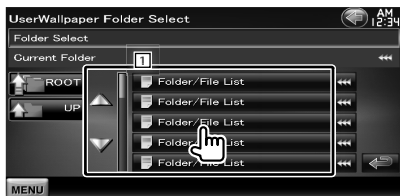
[ ] ▶ [ ] ▶ [Display] ▶ [Background] の順にタッチします。(p55)

3 UserWallpaper Device Select画面を表示する

[Change]　背景画像にする画像を選択します。

[Delete]　読み込まれている画像を削除します。
画面にタッチすると、確認のメッセージが表示されます。削除するときは [Yes]、削除しないときは [No] にタッチします。

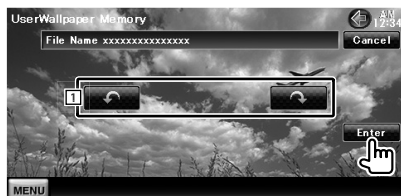
4 メディアを選択する (USBデバイス)

5 読み込む画像を選択する

1　ファイルのリスト

[◀◀]　◀◀ が表示されたときは、タッチするとテキストがスクロールされます。

[ROOT]　最上位階層 (ルート) に移動します。

[UP]　ひとつ上の階層に移動します。

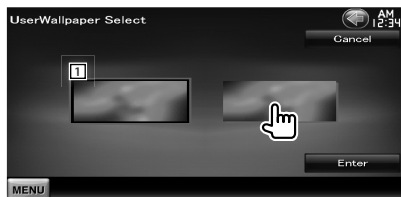
6 画像を読み込む

1　画像を回転します。

- 読み込める画像については、「ピクチャファイル」(p8)をご覧ください
- Background画面の[Memory]ボタンは、STANDBYソースのときのみ操作できます。
- Background画面の[Memory]ボタンにタッチすると、AV OUTソースはオフになります。
AV OUTのリセットについては、「AVインタフェースを設定する」（p65）をご覧ください。
- 背景画像の読み込み中は、他の操作はできません。

背景画像を変えるときは

背景画像を変更します。

1 UserWallpaper Select画面を表示する

2 画像を選択する

1　初期状態の画像に戻します。

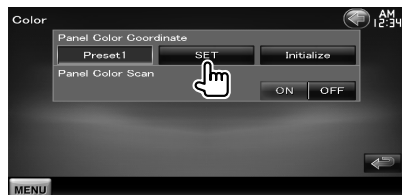
3 背景画像として設定する

イルミネーションの色を変える

ボタンのイルミネーションの色を設定します。

1 Color画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [Display] ▶ [Color] の順にタッチします。(p55)

2 Panel Color Coordinate画面を表示する

[Initialize]　イルミネーションの色をお買い上げ時の状態に戻します。

[Panel Color Scan]　オンに設定すると、イルミネーションの色は次々と変わります。

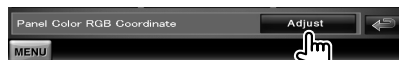
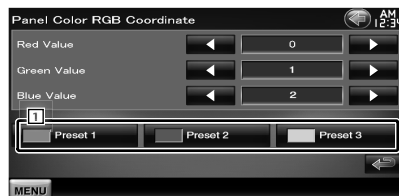
- [SET] または [Initialize] にタッチするときは、[Panel Color Scan] が"OFF"に設定されていることを確認してください。

3 色を選択する

1　タッチした色を設定します。

[Adjust]　プリセットボタン ([P1] – [P3]) にユーザ独自の色を設定します。

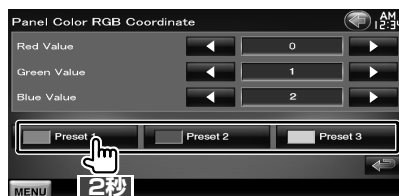
独自の色を設定するときは

1 RGBの調整を開始する

2 値を選択する

1　プリセットする番号を選択します。

[Red Value]　赤の強さを調整します。

[Green Value]　緑の強さを調整します。

[Blue Value]　青の強さを調整します。

3 プリセットする番号を選択する

調整した色は、選択したプリセットボタンに登録されます。

4 色調整を終了する

画質を調整する

画面の画質を調整します。

1 Screen Adjust画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [Display] ▶ [Screen Adjust] の順にタッチします。(p55)

2 各項目を設定する

[Bright]　明るさを調整します。

[Contrast]　コントラストを調整します。

[Black]　黒の濃さを調整します。

[Dimmer]　ディマーモードを設定します。

“ON”：　ディマー機能オン
“OFF”：　ディマー機能オフ
“SYNC”：自動車のライトスイッチの状態に連動して、ディマー機能がオン / オフします。

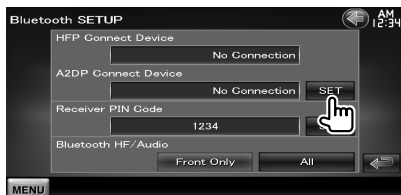
- このScreen　Adjust画面での調整は、メニュー画面にもに有効です。DVDなどのビデオ画面の調整方法は、「画面設定」（p39）ご覧ください。

Bluetooth機器を登録する

Bluetooth機器を接続します。

1 Bluetooth SETUP画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [Bluetooth SETUP] の順にタッチします。(p55)

2 Connect Device List画面を表示する

3 Bluetooth機器をサーチする

1　登録可能な Bluetooth 機器のリストが表示されます。
使用しているのサービスはアクティブ表示され、使用していないサービスはアクティブ表示にはなりません。

[⏪]　⏪ が表示されたときは、タッチすると文字がスクロールされます。

[Search]　Bluetooth 機器のサーチを開始します。

[SP DEV]　通常の方法で登録できない Bluetooth 機器を登録します。

- すでに 5 つの機器が登録されているときには、新しい機器は登録できません。不要な登録を削除してください。
詳しくは、「登録済みのBluetooth機器を接続する」(p63)をご覧ください。

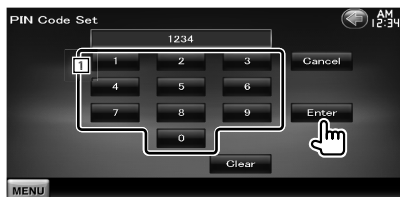
次のページへ ►

4 選択したBluetooth機器を登録する

1　サーチされた Bluetooth 機器が表示されます。

[Search]　Bluetooth 機器をサーチします。

[Cancel]　Bluetooth 機器のサーチを中止します。

5 PINコードを入力する

1　テンキーを使って PIN コード (暗証番号) を入力します。

[Enter]　入力した PIN コードを確認します。指定した Bluetooth 機器用の PIN コードを入力します。
このボタン名は、PIN コードが最低 4 桁入力されるまで使用できません。

[Cancel]　PIN コードの登録を中止します。

[Clear]　PIN コードをクリアします。

- Bluetooth機器側から登録することもできます。必要なPINコードの登録方法については、「PINコードを設定する」(p63)をご覧ください。
- PINコードが合っているにもかかわらずエラーメッセージが表示される場合は、「特別なBluetooth機器を登録するときは」の方法をお試しください。

特別なBluetooth機器を登録するときは

Bluetooth 機器を登録します。通常の登録方法やリストで選択するときにエラーになるような特別な Bluetooth 機器を登録します。

1 Special Device List画面を表示する

2 モデルを選択する

登録できる Bluetooth 機器の名前が表示されます。

3 登録の可否を確認する

- Bluetooth 機器リスト中のモデルのみが登録されます。

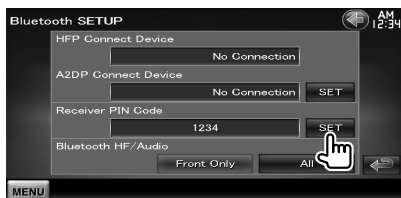
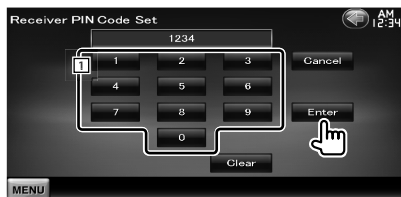
4 「Bluetooth機器を登録する」の手順を実行して登録（接続）完了させる

PINコードを設定する

携帯電話やポータブルオーディオプレーヤー側から接続するときのために、本機にPINコードを設定します。

1 Bluetooth SETUP画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [Bluetooth SETUP] の順にタッチします。(p55)

2 Receiver PIN Code画面を表示する

3 PINコードを入力する

1 テンキーを使って暗証番号を入力します。

[Cancel] PIN コードの登録を中止します。

[Enter] 入力した PIN コードを登録します。

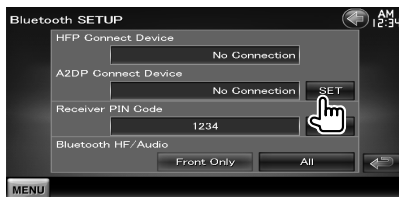
[Clear] 入力した数字をクリアします。

登録済みのBluetooth機器を接続する

選択したBluetooth機器を登録します。

1 Bluetooth SETUP画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [Bluetooth SETUP] の順にタッチします。(p55)

2 Connect Device List画面を表示する

3 接続するBluetooth機器を選択する

4 使用するサービスを選択する

[TEL (HFP)] 携帯電話を接続 (または切断) します。本機は、ハンズフリーユニットとなります。

[Audio (A2DP)] ポータブルオーディオプレーヤーを接続 (または切断) します。Bluetooth オーディオとしてプレイできます。

[Remove] 登録を削除します。
画面にタッチすると確認のメッセージが表示されます。削除するときは [Yes]、削除しないときは [No] にタッチします。

Bluetoothハンズフリー/オーディオ出力を設定する

ハンズフリーの音声（通話や呼び出し音など）やBluetoothオーディオの出力先スピーカーを設定します。

1 Bluetooth SETUP画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [Bluetooth SETUP]の順にタッチします。(p55)

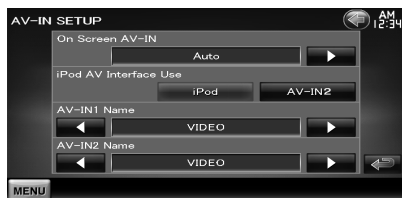
[Bluetooth HF/Audio]　出力先スピーカーを設定します。(“Front Only”)
“Front Only”：フロントスピーカーからのみ出力します。
“All”：全スピーカーから出力します。

AV入力を設定する

AV入力関する設定を行います。

1 AV-IN SETUP画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [AV-IN SETUP] の順にタッチします。(p55)

2 各項目を設定する

[On Screen AV-IN]　AV-IN プレイ画面へのオンスクリーン表示を設定します。
(“Auto”)
“Auto”：　情報が変わったときに、約 5 秒間、自動的に表示します。
“Manual”：画面にタッチしたときに表示されます。

[iPod AV Interface Use]　背面の映像入力と音声入力に接続する機器を設定します。
(“iPod”)
“iPod”：　iPod を接続する場合。
“AV-IN2”：AV 機器を接続して AV-IN2 端子として使用する場合。

[AV-IN1 Name], [AV-IN2 Name]
AV-IN1 または AV-IN2 の名前を設定します。ここで設定した名前は、AV 入力ポートを選択したときに表示されます。
(“VIDEO”)

- [iPod AV Interface Use]
  この項目は、スタンバイソース時およびiPodが接続されていないときには設定できません。
- [AV-IN Name]
  “iPod AV Interface Use”で“iPod”が選択されているときには、片方にAV-INの名前が表示されます。選択されていないときには、両方ともAV-INの名前が表示されます。

AVインタフェースを設定する

AVインタフェースに関する設定を行います。

1 AV Interface SETUP画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [AV Interface] の順にタッチします。(p55)

2 各項目を設定する

[AV-OUT]　AV OUT 端子に出力する AV ソースを設定します。(“AV-IN”)

[R-CAM Interrupt]　リアカメラの映像の割り込み表示を設定します。(“OFF”)

“ON” :　ギアを “Reverse” に切り替えると、リアカメラの映像を表示します。

“OFF” : ギアを “Reverse” に切り替えても、リアカメラの映像は表示されません。

- DVDとUSBデバイスは、現在のソースとAV OUTソースとして同時に使用することはできません。

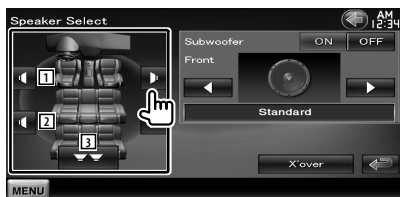
スピーカーを設定する

よい音響効果を得るために、スピーカの種類とサイズを設定します。

1 Speaker Select画面を表示する

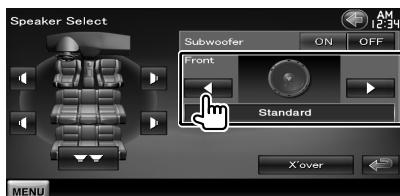
[(戻る)] ▶ [(設定)] ▶ [Audio SETUP] ▶ [Speaker Select] の順にタッチします。(p55)

2 設定するスピーカーを選択する

スピーカーの種類とサイズを設定すると、クロスオーバー周波数とイコライザカーブが自動的に設定されます。

1 フロントスピーカー
2 リアスピーカー
3 サブウーファ

[Subwoofer] サブウーファの有無を設定します。

[X'over] クロスオーバー周波数設定画面を表示します。
スピーカーの種類を設定したときに自動的に設定されたクロスオーバーを調整できます。

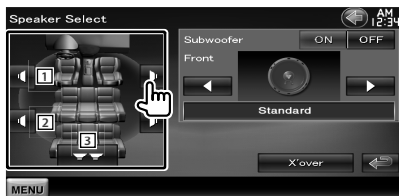
3 スピーカーの種類を設定する

フロントスピーカーの種類を次の中から設定します。

“Standard”： 標準的なスピーカーに合う設定。
“Wide”： 低音域のあまり出ない小型のスピーカーに合う設定
“Middle”： 低音域のよく出る大型のスピーカーに合う設定。
“Narrow”： 周波数帯域が狭いスピーカーに合う設定。

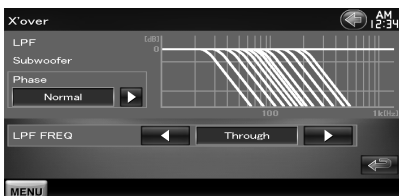
- ソースがSTANDBYのときには、スピーカーの設定は行えません。

クロスオーバー周波数を変更するときは

クロスオーバー周波数を変更できます。

1 変更するスピーカーを選択する

1 フロントスピーカーにハイパスフィルタを設定します。
2 リアスピーカーにハイパスフィルタを設定します。
3 サブウーファにローパスフィルタを設定します。

2 クロスオーバー設定画面を表示する

3 クロスオーバー周波数を設定する

[Phase] サブウーファの出力の位相を設定します。
“Reverse” を選択すると、180° 反転されます。
サブウーファの位相は、“Subwoofer” がオンに設定されているときのみ設定できます。
また、“LPF FREQ” は “Through” 以外を選択できます。

[HPF FREQ] ハイパスフィルタを調整します(フロントまたはリアスピーカーのみ)。

[LPF FREQ] ローパスフィルタを調整します(“Subwoofer” がオンに設定されているときのみ)。

DVDを設定する

DVDのプレイを設定します。

1 DVD SETUP画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [DVD SETUP] の順にタッチします。(p55)

2 各項目を設定する

[Menu Language]* メニューの言語を設定します。
詳しくは、「DVD 言語を設定する」(p68) をご覧ください。

[Subtitle Language]* サブタイトルの言語を設定します。
詳しくは、「DVD 言語を設定する」(p68) をご覧ください。

[Audio Language]* 音声の言語を設定します。
詳しくは、「DVD 言語を設定する」(p68) をご覧ください。

[Dynamic Range Control]* ダイナミックレンジを設定します。(“Dialog”)
“Wide”から“Normal”へ、あるいは“Normal”から “Dialog” に変更すると、ダイナミックレンジは狭くなります。トータルサウンドを作る “Dialog” は、“Wide” や “Normal”と比べて、音量は大きくなります。これにより、映画のセリフが明確に聞こえるようになります。この設定は、ドルビーデジタルソフトウェアを使用している DVD だけに有効です。また、操作は、プレイまたはストップ時に行えます。

[Angle Mark] アングルマークの表示を設定します。(“ON”)

[Screen Ratio]* 画面の比率を設定します。(“16:9”)
“16:9” : ワイドモードで表示します。
“4:3 LB” : ワイド版の映像を、4:3LB(レターボックス) 形式で表示します。このモードでは、画面の上下に黒い帯が出ます。
“4:3 PS” : ワイド版の映像を、4:3PS(パン & スキャン) 形式で表示します。このモードでは、画面の左右に黒い帯が出ます。

[Parental Level]* 視聴制限レベルを表示されます。(“OFF”)
詳しくは、「DVD の視聴制限を設定する」(p68) をご覧ください。

[Disc SETUP] ディスクに関する設定を行います。
詳しくは、「DVD/CD を設定する」(p70) をご覧ください。

• * DVDのプレイ開始中は設定できません。

DVD言語を設定する

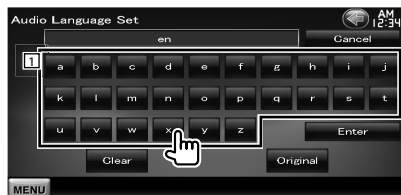
メニューや音声の言語を設定します。

1 DVD SETUP画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [DVD SETUP] の順にタッチします。(p55)

2 言語を設定する項目を選択する

3 言語を指定する

「DVD 言語コード」(74 ページ)を参照しながら、目的の言語を選択します。

1 言語コードを入力します。

[Cancel] 言語の設定を中止し、DVD SETUP 画面に戻ります。

[Enter] 言語を設定して、DVD SETUP 画面に戻ります。DVD SETUP画面は、[Enter] にタッチした後に表示されます。

[Original] 音声の言語を、オリジナル言語に戻します。

[Clear] 言語コードをクリアします。

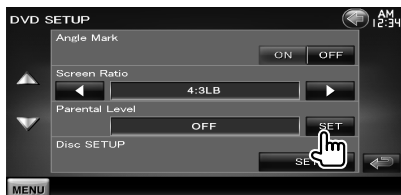
4 言語を設定する

DVDの視聴制限を設定する

DVDの視聴制限を設定します。

1 DVD SETUP画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [DVD SETUP] の順にタッチします。(p55)

2 Parental Pass画面を表示する

3 暗証番号を入力する

1 暗証番号を入力する。

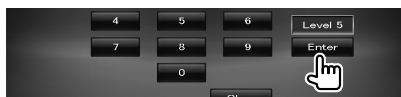
[Cancel] 設定を中止し、DVD SETUP 画面に戻ります。

[Level] 設定されている制限レベルが表示されます。

[Enter] 入力した暗証番号を決定し、Parental Level SETUP 設定画面に戻ります。

[Clear] 入力した暗証番号をクリアします。

- 初めて入力した数字が、以降の暗証番号となります。

4 Parental Level画面を表示する

5 視聴制限レベルを選択し、設定を終了する

視聴制限レベルを選択します。

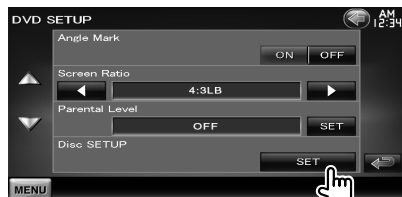
- DVDに現在の設定よりも高い視聴制限レベルが設定されている場合は、暗証番号の入力が必要になります。
- セットされているDVDによって、視聴制限レベルは異なります。
- DVDに視聴制限レベルが設定されていない場合、ここでの視聴制限レベルの設定にかかわらず、誰でもプレイできます。

DVD/CDを設定する

ディスクメディアに関する設定を行います。

1 DVD SETUP画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [DVD SETUP] の順にタッチします。(p55)

2 Disc SETUP画面を表示する

3 各項目を設定する

[Picture Display Time]　ピクチャファイルの表示時間を設定します（ “Long” ）
この時間で、JPEG 画像が切り替わります。
（ “Short” , “Middle” , “Long” ）

[CD Read]　音楽CDの読み取りを設定します。
（ “1” ）
“1” : オーディオファイル、DVD、音楽 CD を自動的に認識してプレイします。
“2” : 強制的に音楽CDとしてプレイします。特殊なフォーマットの音楽 CD や “1” でプレイできないときにこちらを選択します。

[On Screen DVD]　DVD プレイ画面への情報表示を設定します。（ “Manual” ）
“Auto” :　情報が更新されたときに、約 5 秒間、自動的に表示します。
“Manual” : 画面にタッチしたときに表示します。

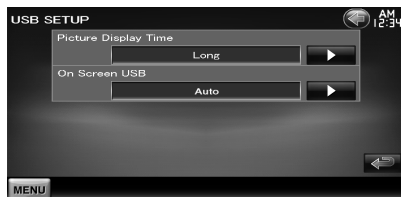
- [CD Read]
  ディスクが入っているときには設定できません。
  オーディオファイルやVCDディスクは"2"ではプレイできません。“2”ではプレイできない音楽CDもあります。

USBデバイスを設定する

USBデバイスに関して設定します。

1 USB SETUP画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [USB SETUP] の順にタッチします。(p55)

2 各項目を設定する

[Picture Display Time]　ピクチャファイルの表示時間を設定します（ “Long” ）
この時間で、JPEG 画像が切り替わります。
（ “Short” , “Middle” , “Long” ）

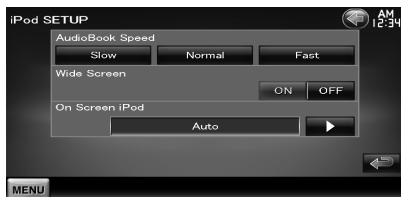
[On Screen USB]　USB プレイ画面への情報表示を設定します。（ “Auto” ）
“Auto” :　情報が更新されたときに、約 5 秒間、自動的に表示します。
“Manual” : 画面にタッチしたときに表示します。

iPodを設定する

iPodに関して設定します。

1 iPod SETUP画面を表示する

[ ] ▶ [ ] ▶ [iPod SETUP] の順にタッチします。(p55)

2 各項目を設定する

[AudioBook Speed]　オーディオブックの読み上げ速度を設定します。(“Normal”)

[Wide Screen]　ビデオ映像のワイドスクリーン表示を設定します。(“OFF”)

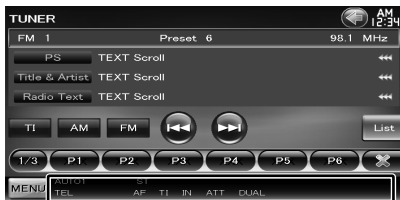
[On Screen iPod]　iPod プレイ画面への情報表示を設定します。(“Auto”)

“Auto”：　情報が更新されたときに、約 5 秒間、自動的に表示します。

“Manual”：画面にタッチしたときに表示します。

- “Wide　Screen”は、iPodを接続しているときは設定できません。

ステータスバーに表示される項目

ステータスバーに表示される項目と意味は次のとおりです。

ソース	表示	意味
一般	“ATT”	アッテネータが動作中です。
	“DUAL”	デュアルゾーン機能がオンです。
	“TEL”	ハンズフリーユニットとしての接続状態を示します。（橙：非接続中、白：接続中）
DVD/CD MEDIA	“FO-REP”	フォルダリピート機能がオンです。
	“IN”	ディスクが挿入されています。（白：ディスク挿入中、橙：挿入ディスクでエラー発生）
	“MOVIE”	ビデオファイルです。
	“MUSIC”	音楽ファイルです。
	“PICTURE”	ピクチャファイルです。
	“RDM”	ランダムプレイ機能がオンです。
	“REP”	リピート機能がオンです。
	“SLIDE”	スライドショー機能がオンです。
DVD-Video	“C-REP”	チャプターリピート機能がオンです。
	“T-REP”	トラックリピート機能がオンです。
DVD-VR	“1 M/S”	主音声と副音声が出力中です。
	“1 MAIN”	主音声が出力中です。
	“1 SUB”	副音声が出力中です。
	“PLST”	プレイリストモードです。
	“T-REP”	タイトルリピート機能がオンです。
VCD	“1chLL”	チャンネル1の左音声だけが出力されていることを示します。
	“1chLR”	チャンネル1の左右の音声が出力されています。
	“1chRR”	チャンネル1の右音声だけが出力されています。
	“1chST”	チャンネル1のステレオ音声が出力されています。
	“LL”	左音声だけが出力されています。
	“LR”	左右の音声が出力されています。
	“RR”	右音声だけが出力されています。
	“ST”	ステレオ音声が出力されています。
	“PBC”	PBC機能がオンです。
	“SVCD”	スーパービデオCDと認識されています。
	“VER1”	Video CD version 1と認識されています。
	“VER2”	Video CD version 2と認識されています。
	“REP”	リピート機能がオンです。
USB	“FO-REP”	フォルダリピート機能がオンです。
	“MOVIE”	ビデオファイルです。
	“MUSIC”	音楽ファイルです。
	“PICTURE”	ピクチャファイルでます。
	“RDM”	ランダムプレイ機能がオンです。
	“REP”	リピート機能がオンです。
	“PLST”	プレイリストモードです。
	“SLIDE”	スライドショー機能がオンです。
iPod	“MUSIC”	音楽ファイルです。
	“VIDEO”	ビデオファイルです。
	“RDM”	ランダム機能がオンです。
	“A-RDM”	アルバムランダム機能がオンです。
	“REP”	リピート機能がオンです。
Tuner	“AUTO1”	選局方法がAUTO1です。
	“AUTO2”	選局方法がAUTO2です。
	“MONO”	モノラル受信機能がオンです。
	“MANU”	選局方法がMANU（手動）です。
	“ST”	ステレオ受信中です。

DVD言語コード

コード	言語
aa	アファル語
ab	アブバジア語
af	アフリカーンス語
am	アムハラ語
ar	アラビア語
as	アッサム語
ay	アイマラ語
az	アゼルバイジャン語
ba	バシキール語
be	ベラルーシ語
bg	ブルガリア語
bh	ビハーリー語
bi	ビスラマ語
bn	ベンガル語、バングラ語
bo	チベット語
br	ブルトン語
ca	カタロニア語
co	コルシカ語
cs	チェコ語
cv	チュヴァシュ語
cy	ウェールズ語
da	デンマーク語
de	ドイツ語
dz	ブータン語
el	ギリシャ語
en	英語
eo	エスペラント語
es	スペイン語
et	エストニア語
eu	バスク語
fa	ペルシャ語
fi	フィンランド語
fj	フィジー語
fo	フェロー語
fr	フランス語
fy	フリジア語
ga	アイルランド語
gd	スコットランドゲール語
gl	ガルシア語

コード	言語
gn	グアラニ語
gu	グジャラート語
gv	マン島語
ha	ハウサ語
he	ヘブライ語
hi	ヒンディー語
ho	ヒリ・モツ語
hr	クロアチア語
hu	ハンガリー語
hy	アルメニア語
ia	国際語
id	インドネシア語
ie	国際語
ig	イボ語
ik	イヌピアック語
is	アイスランド語
it	イタリア語
ja	日本語
jv	ジャワ語
ka	グルジア語
kk	カザフ語
kl	グリーンランド語
km	カンボジア語
kn	カンナダ語
ko	韓国語
kr	カヌリ語
ks	カシミール語
ku	クルド語
ky	キルギス語
la	ラテン語
lb	ルクセンブルク語
ln	リンガラ語
lo	ラオス語
lt	リトアニア語
lv	ラトビア語、レット語
mg	マダガスカル語
mi	マオリ語
mk	マケドニア語
ml	マラヤーラム語

コード	言語
mn	モンゴル語
mo	モルダビア語
mr	マラータ語
ms	マレー語
mt	マルタ語
my	ミャンマー語
na	ナウル語
ne	ネパール語
nl	オランダ語
no	ノルウェー語
oc	プロバンス語
om	(アファン)オロモ語
or	オリヤー語
pa	パンジャブ語
pl	ポーランド語
ps	パシュトー語
pt	ポルトガル語
qu	ケチュア語
rm	ラエティ=ロマン語
rn	キルンディ語
ro	ルーマニア語
ru	ロシア語
rw	キニヤルワンダ語
sa	サンスクリット語
sd	シンド語
sg	サンゴ語
sh	セルボ=クロアチア語
si	シンハラ語
sk	スロバキア語
sl	スロベニア語
sm	サモア語
sn	ショナ語
so	ソマリ語
sq	アルバニア語
sr	セルビア語
ss	シスワティ語
st	セストゥ語
su	スンダ語
sv	スウェーデン語

コード	言語
sw	スワヒリ語
ta	タミール語
te	テルグ語
tg	タジク語
th	タイ語
ti	ティグリニャ語
tk	トゥルクメン語
tl	タガログ語
tn	セツワナ語
to	トンガ語
tr	トルコ語
ts	ツォンガ語
tt	タタール語
tw	トウィ語
uk	ウクライナ語
ur	ウルドゥー語
uz	ウズベク語
vi	ベトナム語
vo	ボラピュク語
wo	ウォロフ語
xh	コーサ語
yo	ヨルバ語
zh	中国語
zu	ズール語

設定によっては、本機の機能が使用できない場合があります。

- **サブウーファを設定できない。**
- **サブウーファの位相を設定できない。**
- **サブウーファから音が出ない。**
- **ローパスフィルタを設定できない。**
- **ハイパスフィルタを設定できない。**

▶ サブウーファがオンになっていない。
☞「スピーカーを設定する」（p66）

▶ デュアルゾーン機能がオンになっている。
☞「ゾーンコントロール」（p54）

▶ ソースがスタンバイになっている。

- **デュアルゾーンのサブソースの出力先を選択できない。**
- **リアスピーカーの音量を調整できない。**

▶ デュアルゾーン機能がオフになっている。
☞「ゾーンコントロール」（p54）

オーディオファイルをプレイできない。

▶「DVD/CDを設定する」（p70）の“CD Read”が“2”に設定されている。

フォルダを選択できない。

▶ ランダムプレイがオンになっている。

リピートプレイできない。

▶ PBC機能がオンになっている。

- **イコライザを設定できない。**
- **クロスオーバー周波数を設定できない。**

▶ デュアルゾーン機能がオンになっている。
☞「ゾーンコントロール」（p54）

▶ ソースがスタンバイになっている。

修理をご依頼になる前、次の点をご確認ください。

一般

操作音が出ない。

✔ プリアウト出力からの音声を使用している。
☞ 操作音は、プリアウト端子からは出力されません。

Tunerソース

ラジオの受信状態が悪い。

✔ 自動車ののアンテナが伸びていない。
☞ アンテナを十分に伸ばしてください。

✔ アンテナコントロール電源が接続されていない。
☞ 取り付け説明書をご覧の上、正しく接続しなおしてください。

Discソース

他のディスクはプレーできるが、特定のディスクがプレイできない。

✔ ディスクが異常に汚れている。
☞「ディスクの取り扱いについて」（p6）を見て、ディスクをクリーニングしてください。

✔ ディスクに傷がある。
☞ ディスクを取り替えてみてください。

オーディオファイルソース

プレイ中に音飛びする。

✔ ディスクに傷や汚れがある。
☞「ディスクの取り扱いについて」（p6）を見て、ディスクをクリーニングしてください。

✔ ディスク作成時の問題。
☞ ディスクを作成しなおすか、ほかのディスクを使用してください。

Help? エラー表示

本機が正しく動作していないときには、次のように、原因がされます。

"Protect" :

スピーカーコードがショートしていたり、車の金属部分に接触してプロテクション機能が働きました。
➡ スピーカーコードを正しく配線または絶縁してからリセットボタンを押してください。
なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービスセンターへご相談ください。

"Hot Error" :

本機の内部の温度が60℃異常に上昇し、本機の保護回路が働いたため操作できません。
➡ 自動車内の温度が下がるのを待って操作してください。

"Mecha Error" :

何らかの原因で正常に動作していません。
➡ イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービスセンターへご相談ください。

"Disc Error" :

ディスクが汚れています。
➡ 「ディスクの取り扱いについて」(p6)を見て、ディスクをクリーニングしてください。

ディスクが裏返しです。
➡ ラベル面を上にして挿入してください。
対応していないディスクが挿入されています。

"Region Code Error" :

本機ではプレイできないリージョン番号のディスクをプレイしようとしました。

"Parental Level Error" :

設定よりも高い視聴制限レベルのディスクをプレイしようとしました。

"No Device" (USBデバイス):

USBデバイスが接続されていないときにUSBソースが選択されました。
➡ USBデバイスを接続し、再びUSBソースにしてください。

"Disconnected" (iPod, Bluetooth対応オーディオプレーヤー):

iPod/Bluetooth対応オーディオプレーヤーが接続されていないときに、それらがソースとして選択されました。
➡ iPod/Bluetooth対応オーディオプレーヤーを接続し、再びソースを切り替えてください。

"No Media File" :

接続されているUSBデバイスには、プレイできるフォーマットのオーディオファイルがありません。

"USB Device Error!!" :

サポートされていないUSBデバイスが接続されました（容量の上限を超えています）。
➡ USBデバイスを確認してください。

接続したUSBデバイスで複数のエラーが発生しています。
➡ 他のソースに切り替え、USBデバイスを取り外してください。

"Authorization Error" :

iPodでエラーが発生しました。
➡ iPodを接続しなおしてください。

サポートされていないiPodが接続されています。
➡ 接続しているiPodが接続可能なiPodか確認してください。詳しくは、「接続できるiPod/iPhone」(p8)をご覧ください。

"Update your iPod" :

iPodのソフトウェアが古くてサポートされていません。
➡ 最新のソフトウェアを確認してください。詳しくは、「接続できるiPod/iPhone」(p8)をご覧ください。

仕様一覧

モニター部

画面サイズ
：6.1V型ワイド
：136 mm (W) × 72 mm (H)

表示方式
：透過TN型

駆動方式
：TFTアクティブマトリクス

画素数
：1,152,000個 (800H × 480V × RGB)

有効画素数
：99.99 %

画素配列
：RGBストライプ配列

使用光源（照明方式）
：LED

DVDプレーヤー部

D/Aコンバータ
：24 bit

オーディオファイルフォーマット
：リニアPCM/ Dolby Digital/ dts/ MP3/ WMA/ AAC/ WAV

ビデオファイルフォーマット
：MPEG1/ MPEG2

ワウ & フラッター
：測定限界以下

周波数特性
96kHzサンプリング時：20 ～ 44,000 Hz
48kHzサンプリング時：20 ～ 22,000 Hz
44.1kHzサンプリング時：20 ～ 20,000 Hz

高調波歪率
：0.010 % (1 kHz)

S/N比 (dB)
：98 dB (DVD-Video 96 kHz)

ダイナミックレンジ
：98 dB (DVD-Video 96 kHz)

ディスクフォーマット
：DVD-Video/ VIDEO-CD/ CD-DA

サンプリング周波数
：44.1/ 48/ 96 kHz

量子化ビット数
：16/ 20/ 24 bit

USB I/F部

USB規格
：USB 2.0 Full Speed

ファイルシステム
：FAT 16/ 32

最大供給電流
：500 mA

D/Aコンバータ
：24 Bit

ビデオファイルフォーマット
：MPEG1/ MPEG2

オーディオファイルフォーマット
：MP3/ WMA/ AAC/ WAV

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
：76.0 MHz ～ 90.0 MHz (100 kHz)

実用感度 (S/N：30 dB)
：9.3 dBf (0.8 μV/ 75 Ω)

感度 (S/N：50 dB)
：15.2 dBf (1.6 μV/ 75 Ω)

周波数特性 (± 3.0 dB)
：30 Hz ～ 15 kHz

S/N比 (dB)
：70 dB (MONO)

選択度 (± 400 kHz)
：80 dB以上

ステレオセパレーション
：40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ)
：522 kHz ～ 1629 kHz (9 kHz)

感度
：28 dBμ (25 μV)

ビデオ部

映像方式
：NTSC
外部映像入力レベル
：1 Vp-p/ 75 Ω
外部音声最大入力レベル
：2 V/ 25 kΩ
外部映像出力レベル
：1 Vp-p/ 75 Ω
外部音声最大出力レベル
：1.2 V/ 10 kΩ

オーディオ部

最大出力
：50 W × 4
定格出力
：30 W × 4 (4 Ω、1 kHz、10 % THD)
プリアウトレベル（FM)
：2 V/ 10 kΩ
プリアウトインピーダンス
：600 Ω以下
スピーカーインピーダンス
：4 ～ 8 Ω
音質調整
Bass：100 Hz ± 8 dB
Middle：1 kHz ± 8 dB
Treble：10 kHz ± 8 dB

電源部・寸法・質量

電源電圧
：14.4 V (10.5 ～ 16 V)
最大消費電流
：15 A
埋込寸法 (W × H × D)
：178 × 100 × 157 mm
動作温度
：–10 ℃ ～ +60 ℃
保存温度
：–20 ℃ ～ +85 ℃
質量(重さ)
：1.8 kg

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや異常点灯する場合があります。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

保証について

● **保証書**

この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● **保証期間**

お買上げの日より 1 年です。

修理を依頼されるときは

「Help? 故障かな？と思ったら」(p75) を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。(「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● **保証期間中は ...**

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因 (衝撃や水分、異物の混入など) による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間経過後は ...**

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● **持込修理**

この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
  (本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● **修理料金のしくみ** (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

- 技術料：**製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。**
  技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：**修理に使用した部品代です。**
  その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〒 007-0834	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29	☎ (011) 807-3003

東北			
仙台サービスセンター	〒 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13	☎ (022) 287-0151

関東・信越			
さいたまサービスセンター	〒 331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎ (048) 778-8714
千葉サービスセンター	〒 277-0863	柏市豊四季512-10-67	☎ (04) 7171-3800
横浜サービスセンター	〒 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
新潟サービスセンター	〒 950-0913	新潟市中央区鐙1-5-23	☎ (025) 245-2177
大田サービスセンター (修理持込専用窓口)	〒 146-0082	東京都大田区池上2-8-10 プラムビル1F 電話でのお問い合わせは、カスタマーサポートセンター(裏表紙をご覧ください) にて承ります。	

中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〒 481-0041	北名古屋市九之坪鴨田121-1	☎ (0568) 24-1644
静岡サービスセンター	〒 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	〒 921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎ (076) 269-2935

近畿・四国			
大阪サービスセンター	〒 532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	☎ (06) 6390-8005
高松サービスセンター	〒 761-8057	高松市田村町205-1	☎ (087) 802-6055

中国			
広島サービスセンター	〒 730-0825	広島市中区光南3-9-17	☎ (082) 241-0023

九州			
福岡サービスセンター	〒 812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F	☎ (092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	〒 891-0114	鹿児島市小松原1-5-17	☎ (099) 268-0030
沖縄サービスセンター	〒 901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	☎ (098) 898-3631

■ サービスセンターの営業時間のご案内
受付時間　10:00～18:00(土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)

The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.

本製品では、株式会社リコーがデザイン、制作したフォントを使用しています。

“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

DVD is a trademark of DVD Format/Logo Licensing Corporation registered in the U.S., Japan and other countries.

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

Manufactured under license under U.S. Patent #’s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS is a registered trademark and the DTS logos, Symbol and DTS 2.0 Channel are trademarks of DTS, Inc. © 1996-2008 DTS, Inc. All Rights Reserved.

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒 192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル　0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960
FAX　045-450-2287
住所　〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町３-12
受付時間　月曜～金曜　9:30～18:00
土曜　9:30～12:00、13:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My Kenwood）をお願いしています。
弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
http://jp.my-kenwood.com